HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	[展示]北大生の御用達！:新聞広告あれこれ:1926-1945
Author(s)	廣瀬, 公彦; 佐々木, 朝子; 山本, 美穂子
Citation	北海道大学大学文書館年報, 15, 145-192
Issue Date	2020-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/78186
Type	other
File Information	6.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

＜ 展　　示 ＞

北大生の御用達！　新聞広告あれこれ　1926–1945

１．企画展示の解説

(1)　開催

企画展示「北大生の御用達！　新聞広告あれこれ　1926–1945」は、2019年度の大学行事（第61回北大祭〔６月７日～６月９日〕、オープンキャンパス〔８月４日～８月５日〕、ホームカミングデー〔９月27日～９月29日〕）及び地域行事（カルチャーナイト〔７月19日〕）に際し、大学文書館１階の大会議室を会場として開催した。

(2)　構成及び担当

企画展示の構成は、1926～1945年を対象時期として、Ⅰ.『北海道帝国大学新聞』掲載広告のパネル掲示、Ⅱ. 札幌市街図の展示、Ⅲ. 学生生活の回想パネルの掲示、Ⅳ. 広告掲出の商店等にまつわる資料・写真の陳列展示とした。Ⅰ. ～Ⅲ. は廣瀬公彦・佐々木朝子が、Ⅳ. は山本美穂子が分担した。また、参考調査として、『北海道帝国大学新聞』に広告を掲出した商店の一覧化も行い、中村美樹子・杉山和香奈が担当した（本年報193～239頁を参照）。

なお、Ⅰ. ～Ⅳ. の各構成は、以下のとおりである。

Ⅰ.『北海道帝国大学新聞』掲載広告のパネル掲示

『北海道帝国大学新聞』第１号（1926年５月14日付）～第300号（1944年４月18日付）を対象として、学生に対するキャッチコピーのある広告や、意匠をこらした広告を選んだ。パネルの作成は、業種ごとに色分けをして、学用品店（緑色）、飲食店（赤色）、衣料品店（青色）、日用品店（黄色）、下宿（茶色）、娯楽施設（紫色）とした。掲示にあたっては、店舗の所在地によって４区域（①北大界隈、②札幌駅前界隈、③南一条通り界隈、④狸小路・すすきの界隈）に分類し、展示ボード４枚に掲げた。

Ⅱ. 札幌市街図の展示

戦前の札幌市街図を示すため、『大日本職業別明細図　札幌市』（東京交通社、1936年５月発行）の拡大図を作成して会場中央の机上に配置し、各店舗の所在地にシールを貼付した。

Ⅲ. 学生生徒の回想パネルの掲示

①書店、②百貨店、③狸小路、④映画館について、広告掲出の商店・商品にまつわる回想を、『札幌同窓会誌』第２号（1967年）及び第６号（1980年）から抜粋し、パネル掲示した。

Ⅳ. 広告掲出の商店等にまつわる資料・写真の陳列展示

公文書（札幌農学校簿書、帝国大学期簿書）、沿革資料（恵迪寮関係資料、個人資料〔高岡熊雄・中島九郎・高松正信・宍戸昌夫・高尾彰一旧蔵など〕）、沿革写真類、絵葉書などから、広告掲出の商店・商品等にまつわる資料を選び、上記の４区域毎に机上に陳列した。

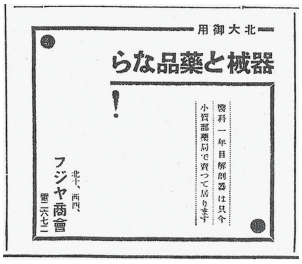
２．展示風景

展示会場を入口よりのぞむ

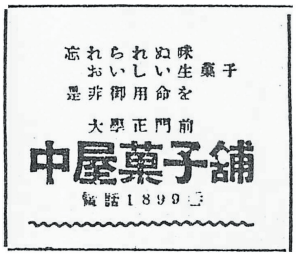
展示会場の壁面に掲示した回想パネル

3．展示広告パネル

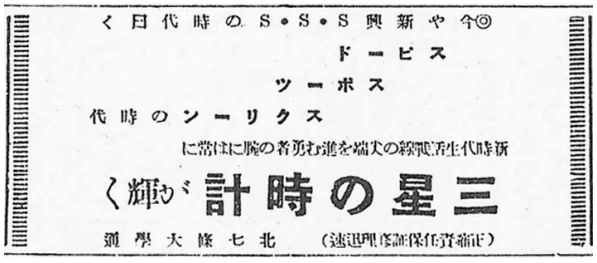
Ⅰ．北大界隈



フジヤ商会（北10西４）
〔1933年９月19日付、１面〕

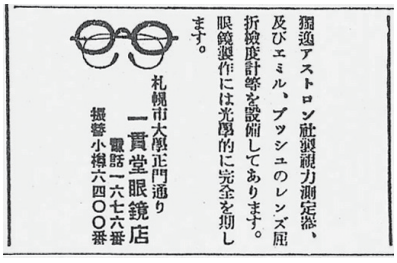


中屋菓子舗（北８西４）
〔1933年６月20日付、４面〕

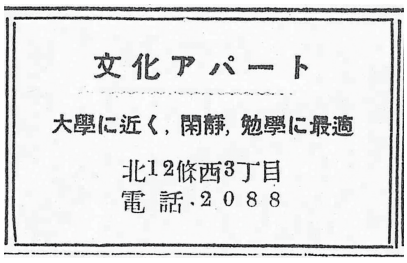


三星時計店（北７大学通）
〔1930年10月６日付、４面〕

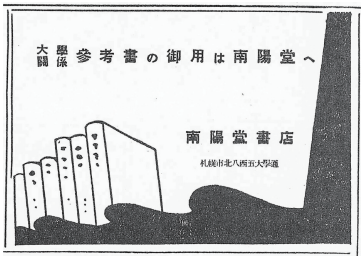
緑館（北７西１）
〔1928年11月19日付、３面〕



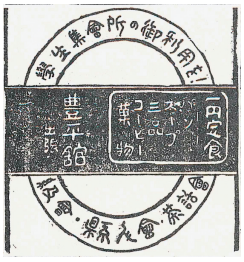
一貫堂眼鏡店（北７西５）
〔1927年11月21日付、４面〕



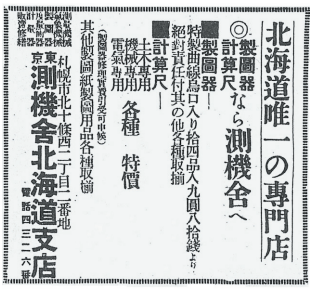
文化アパート（北12西３）
〔1936年４月７日付、２面〕



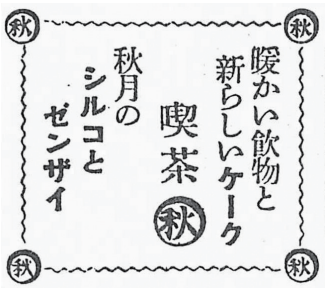
南陽堂書店（北８西５）
〔1934年２月20日付、３面〕



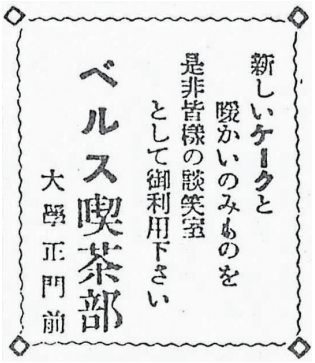
豊平館出張所（学生集会所食堂）
〔1929年11月４日付、４面〕



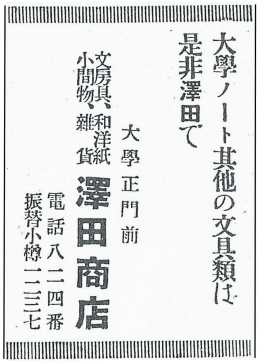
測機舎北海道支店（北10西２）
〔1931年６月１日付、１面〕



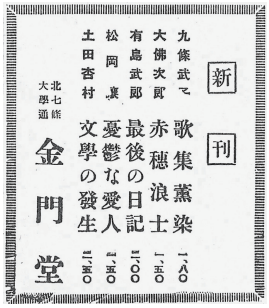
秋月喫茶部（大学病院前）
〔1929年11月４日付、４面〕



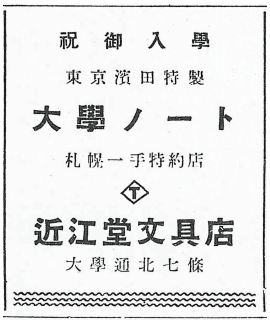
ベルス喫茶部（大学正門前）
〔1929年１月２日付、４面〕



沢田商店（北９西４）
〔1931年６月１日付、１面〕

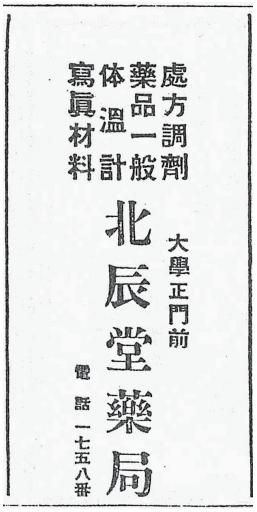


金門堂書店（北８西４）
〔1928年11月19日付、３面〕

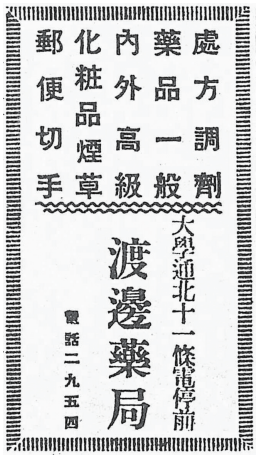


近江堂文具店（北７西５）
〔1930年４月７日付、４面〕

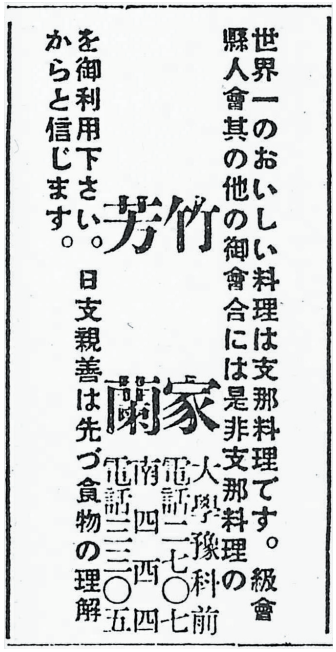
松屋洋服店（北９西４）
〔1927年３月18日付、１面〕



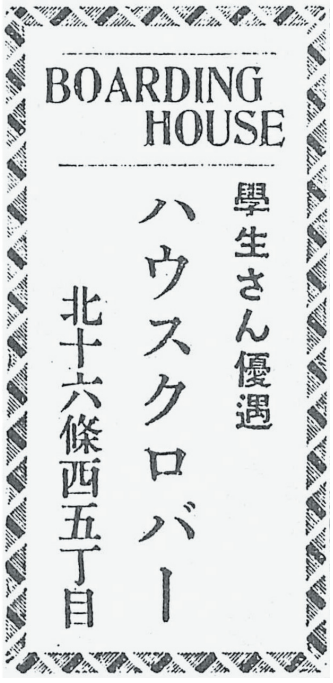
北辰堂薬局（北８西５）
〔1927年11月７日付、２面〕



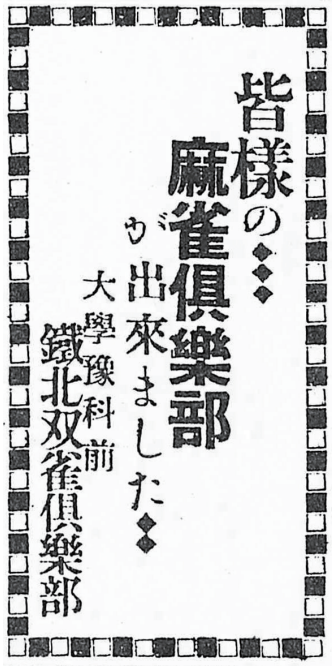
渡辺薬局（北11西４）
〔1930年４月７日付、４面〕



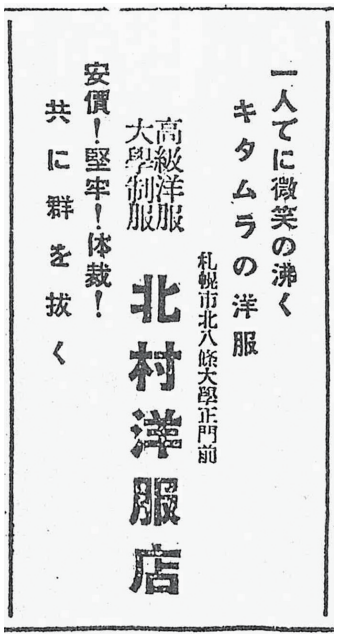
竹家（北９西４）
〔1927年７月９日付、４面〕



ハウスクロバー（北16西５）
〔1928年５月７日付、３面〕

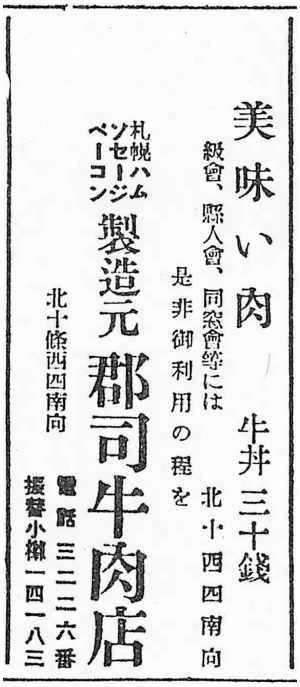


鉄北双雀倶楽部（大学予科前）
〔1931年４月20日付、４面〕



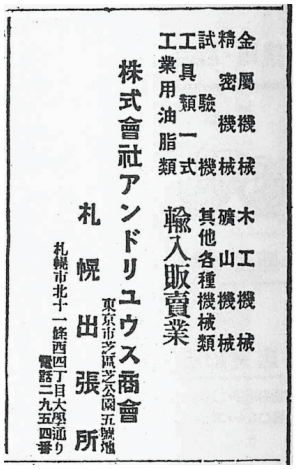
北村洋服店（北８大学正門前）
〔1927年３月18日付、１面〕

ひとみ（北８西５）
〔1927年11月21日付、４面〕

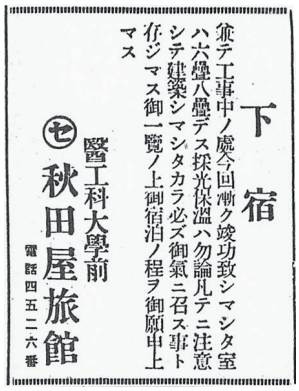


郡司牛肉店（北10西４）
〔1929年１月２日付、４面〕

佐藤自転車店（北９西４）
〔1938年６月28日付、１面〕

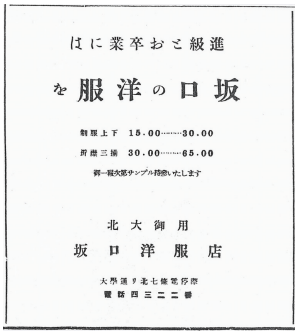


アンドリュース商会
札幌出張所（北11西４）
〔1927年11月21日付、４面〕

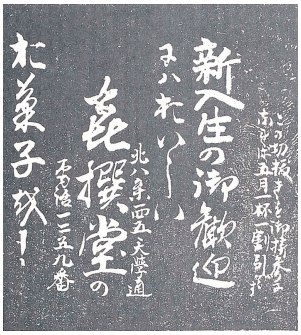


秋田屋旅館（北12西４）
〔1931年10月19日付、４面〕

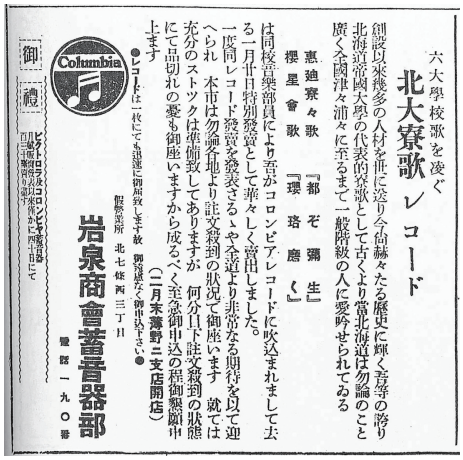
ナイト商会（大学正門前）
〔1937年１月26日付、４面〕



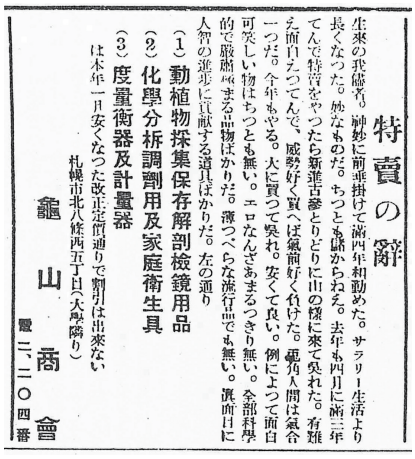
坂口洋服店（大学通北７電停際）
〔1933年２月１日付、１面〕



喜撰堂菓子舗（北８西５）
〔1927年４月22日付、１面〕

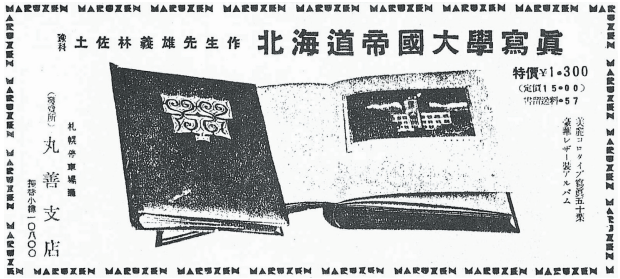


岩泉商会蓄音機部（北７西３）
〔1931年２月２日付、４面〕

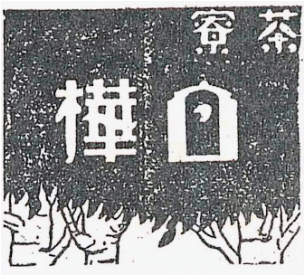


亀山商会（北８西５）
〔1931年４月20日付、４面〕

Ⅱ．札幌駅前界隈

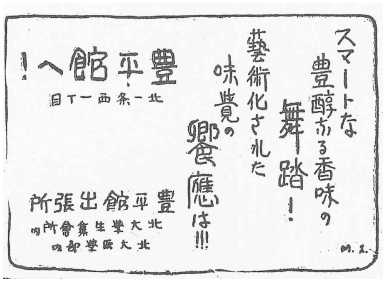


丸善札幌出張所（北１西４）
〔1938年６月28日付、４面〕

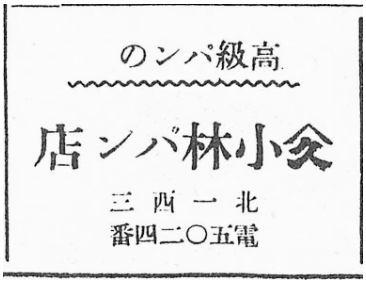


白樺（北３西３）
〔1928年１月９日付、３面〕

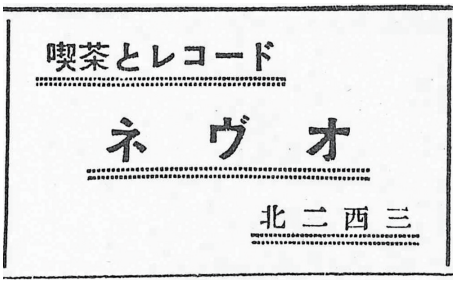
西村洋菓子店（北４西３）
〔1933年２月21日付、３面〕



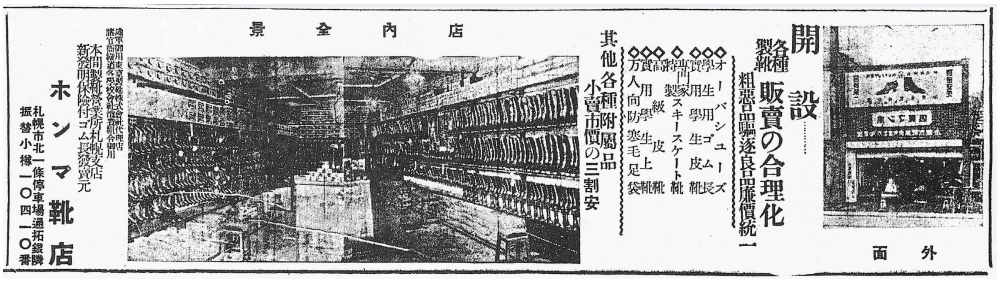
豊平館（北１西１）
〔1927年７月９日付、４面〕



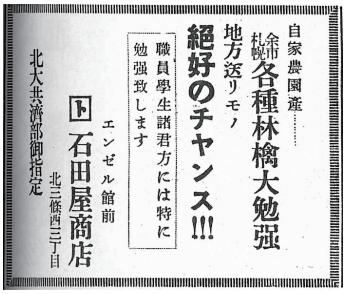
小林パン店（北１西３）
〔1937年10月26日付、２面〕



ネヴォ喫茶店（北２西３）
〔1935年４月２日付、４面〕

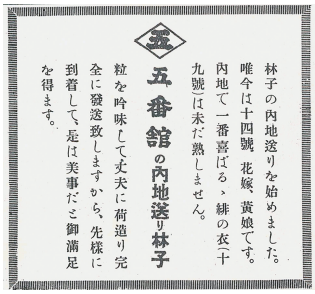


ホンマ靴店（大通西３）
〔1930年11月17日付、４面〕

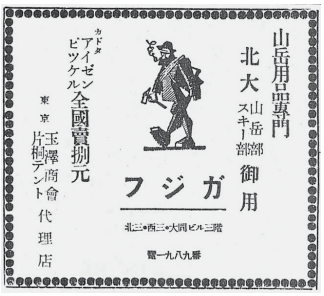


石田屋商店（北３西３）
〔1931年10月19日付、２面〕

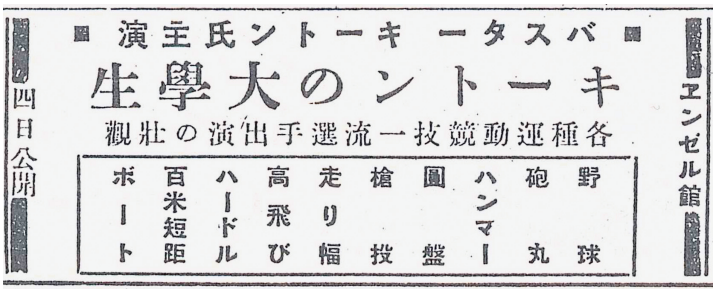
村上花園（北６西11）
〔1930年５月19日付、４面〕



五番館（北４西３）
〔1931年10月19日付、１面〕



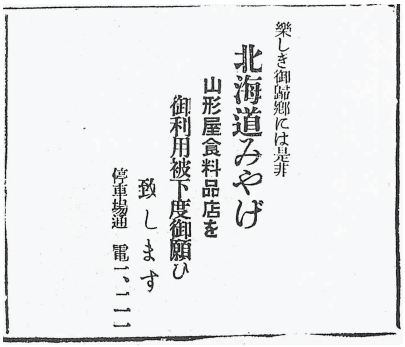
フジガ（北３西３）
〔1937年２月９日付、１面〕



エンゼル館（北２西３）
〔1928年10月１日付、３面〕

エンゼル館（北２西３）
〔1930年12月１日付、４面〕

大通書店古本仕入部（北１西３）
〔1931年10月19日付、１面〕



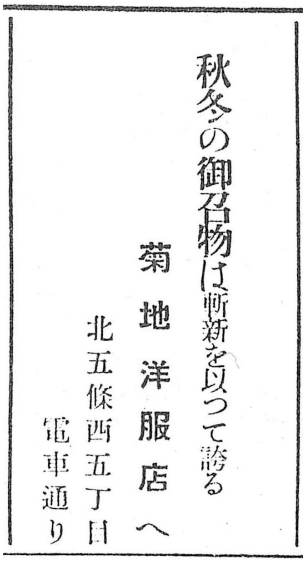
山形屋食料品店（北２西３）
〔1930年６月16日付、２面〕

武藤器械店札幌支店（北５西５）
〔1933年９月19日付、１面〕

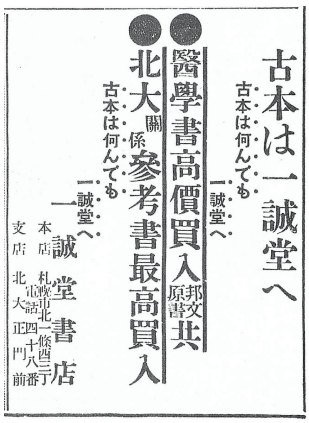
フジイ（北１西３）
〔1937年10月12日付、４面〕

尚古堂書店（大通西４）
〔1928年９月17日付、１面〕

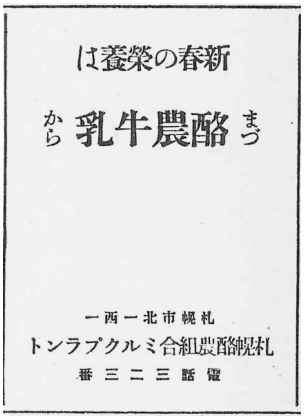
丸善札幌出張所（北１西４）
〔1935年４月２日付、４面〕



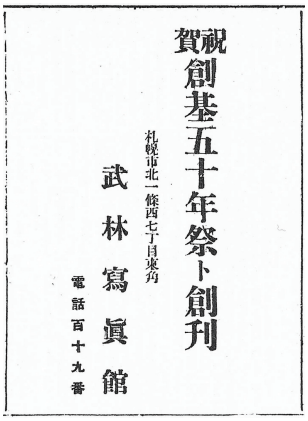
菊地洋服店（北５西５）
〔1933年10月３日付、４面〕



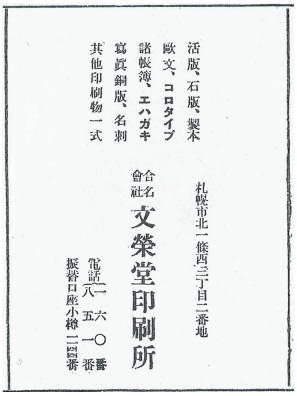
一誠堂書店（北１西３）
〔1934年５月７日付、４面〕



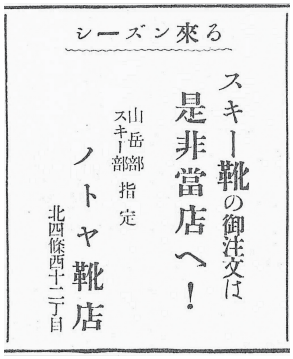
札幌酪農組合ミルクプラント（北１西１）
〔1934年１月23日付、３面〕



武林写真館（北１西７）
〔1926年５月14日付、１面〕

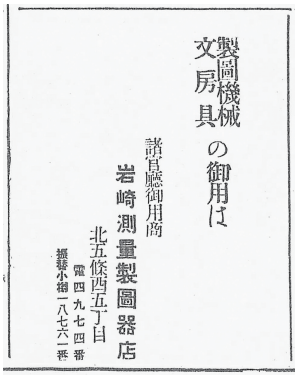


文栄堂印刷所（北１西３）
〔1926年６月17日付、１面〕

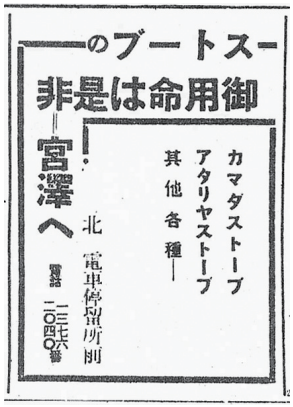


ノトヤ靴店（北４西12）
〔1936年11月17日付、３面〕

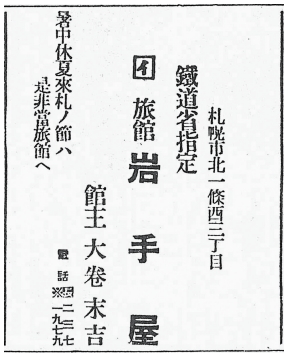
カメラハウス（北１西５）
〔1936年５月19日付、８面〕



岩崎測量製図器店（北５西５）
〔1936年11月17日付、４面〕



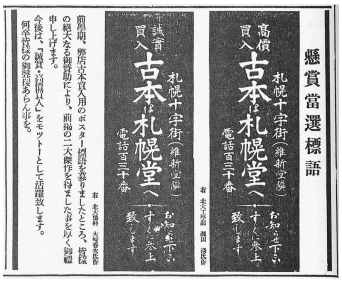
宮沢金物店（北７西４）
〔1933年10月３日付、３面〕



岩手屋（北１西３）
〔1930年６月16日付、４面〕

かめい（北１西４）
〔1937年10月12日付、４面〕

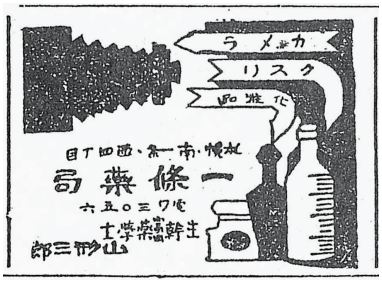
Ⅲ．南一条通り界隈



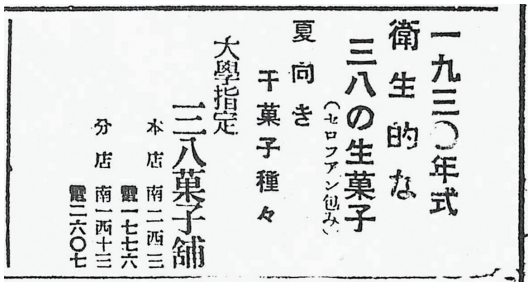
札幌堂書店（南１西４）
〔1935年５月７日付、３面〕

ルビー（南１西３）
〔1927年５月18日付、１面〕

カナリヤ（師範学校前）
〔1928年１月９日付、４面〕



一条薬局（南１西４）
〔1927年５月18日付、２面〕



三八菓子舗（南２西３）
〔1930年６月16日付、２面〕

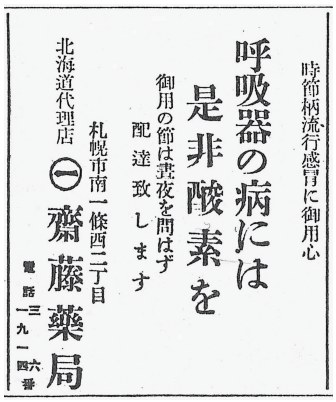
今井呉服店（南１西２）
〔1939年６月27日付、３面〕

三越（南１西３）
〔1938年６月28日付、１面〕

木本靴店（南１西３）
〔1927年12月５日付、４面〕

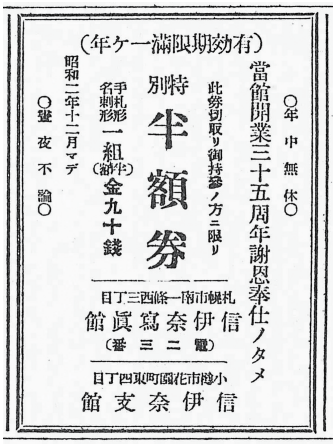
浅見ラシャ店（南１西５）
〔1929年３月４日付、１面〕

富貴堂運動具店（南１西４）
〔1928年１月９日付、３面〕



斉藤薬局（南１西２）
〔1928年４月16日付、１面〕

三越（南１西３）
〔1932年５月２日付、６面〕

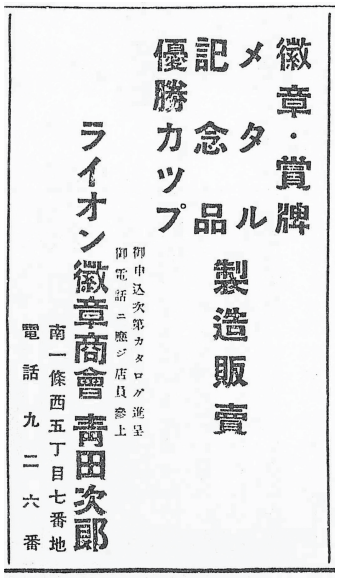


信伊奈写真館（南１西３）
〔1927年３月18日付、１面〕

岩井靴店（南１西２）
〔1926年５月14日付、１面〕

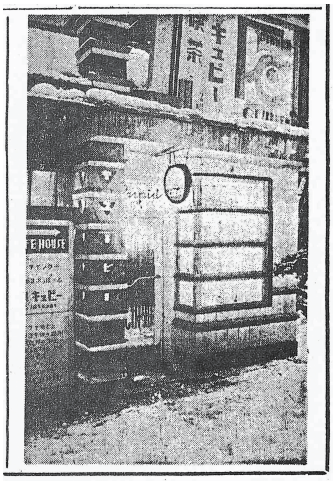
向井洋服店（南２西５）
〔1929年３月４日付、１面〕

オリンピア倶楽部（南３西４）
〔1938年１月11日付、２面〕

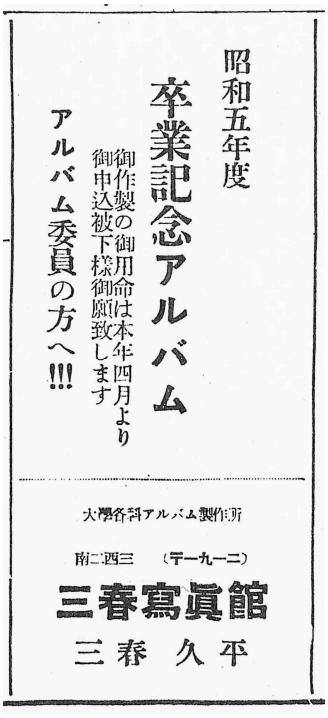


ライオン徽章商会（南１西５）
〔1933年４月４日付、４面〕

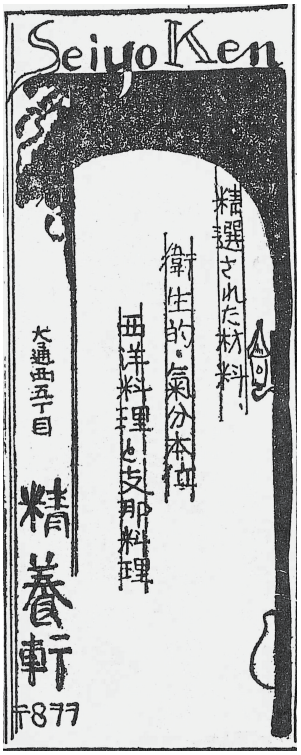
菊屋食料品店（南１西４）
〔1932年９月20日付、４面〕



キューピー（南２西５）
〔1933年12月12日付、４面〕



三春写真館（南２西３）
〔1929年３月４日付、１面〕



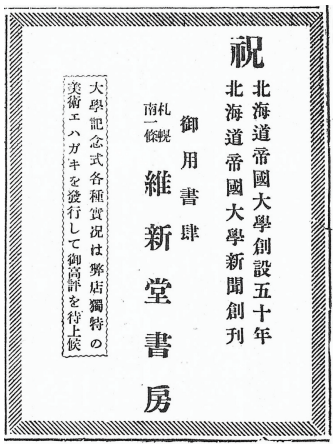
精養軒（大通西５）
〔1928年11月19日付、１面〕

コンノズボン店（南２西３）
〔1932年７月５日付、３面〕

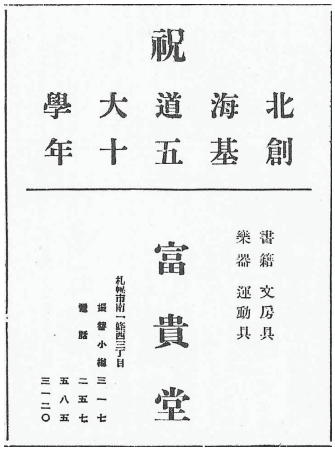
水野眼鏡店（南２西４）
〔1928年５月７日付、３面〕

玉屋眼鏡店（南１十字街）
〔1930年４月７日付、４面〕

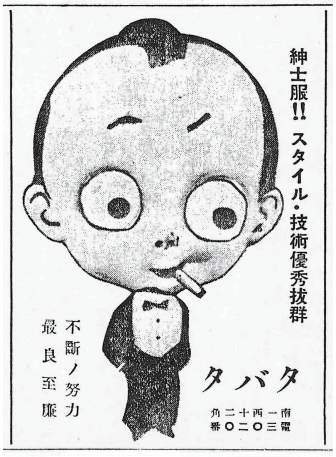
大丸藤井商店（南１西３）
〔1939年６月27日付、３面〕



維新堂書房（南１西４）
〔1926年５月14日付、１面〕

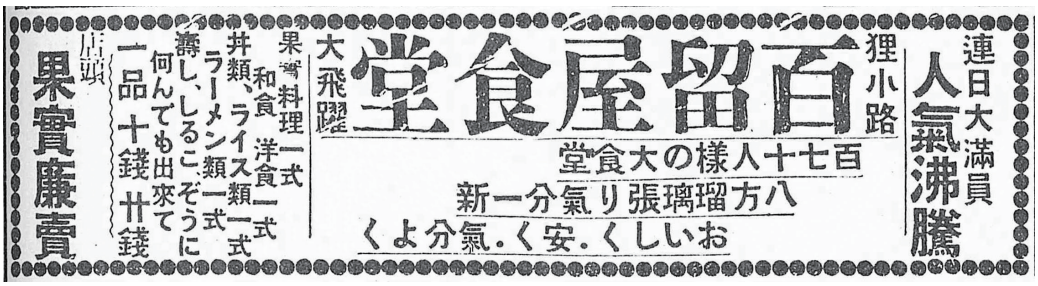


富貴堂（南１西３）
〔1926年５月14日付、１面〕



タバタ（南１西12）
〔1933年２月１日付、４面〕

Ⅳ．狸小路・すすきの界隈



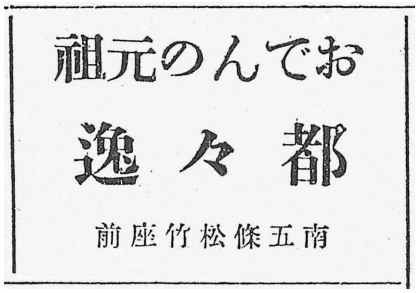
百留屋食堂（狸小路２）
〔1931年４月６日付、２面〕

百留屋食堂（狸小路２）
〔1930年８月４日付、１面〕

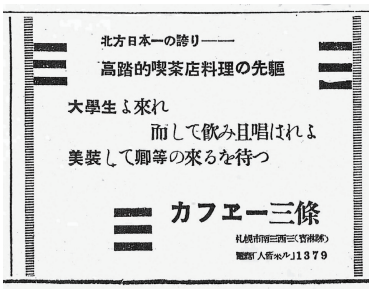
美満寿館（南５西４）
〔1931年４月６日付、２面〕

松竹座（南４西３）
〔1934年10月15日付、４面〕

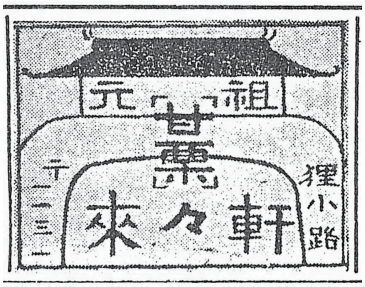
コマドリ（狸小路新川通）
〔1929年４月15日付、３面〕



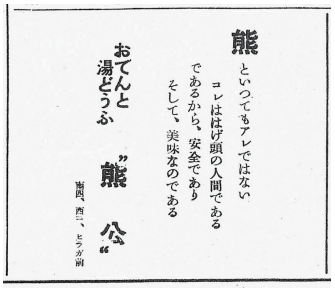
都々逸（南５松竹座前）
〔1928年９月17日付、１面〕



カフェー三条（南３西３）
〔1929年11月18日付、３面〕



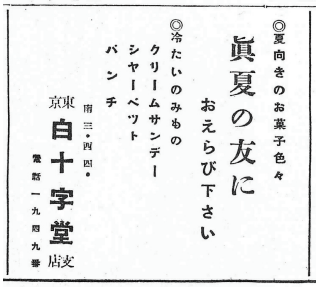
来々軒（狸小路２）
〔1929年１月２日付、４面〕



熊公（南４西２）
〔1937年９月14日付、３面〕

富枡洋装店（南５西６）
〔1928年４月16日付、２面〕

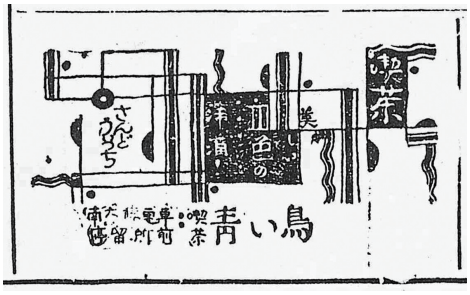
岡田屋本店（南４西４）
〔1928年２月６日付、４面〕



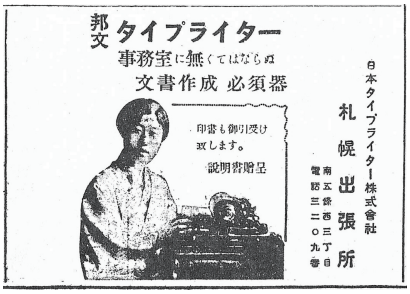
白十字堂（南４西４）
〔1927年７月９日付、４面〕

松竹座（南４西３）
〔1937年11月23日付、１面〕

川中靴店（南３西４）
〔1934年７月16日付、４面〕



青い鳥（南６電車停留所前）
〔1928年２月６日付、２面〕

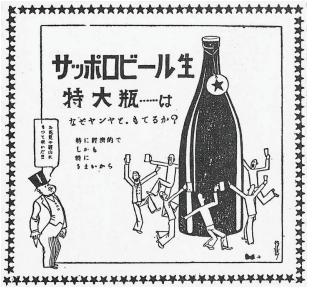


日本タイプライター札幌出張所（南５西３）
〔1928年７月９日付、１面〕

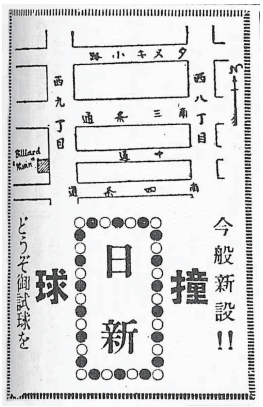
宮本商店（南３西２）
〔1927年12月５日付、４面〕

サッポロビール（狸小路２）
〔1933年６月６日付、１面〕

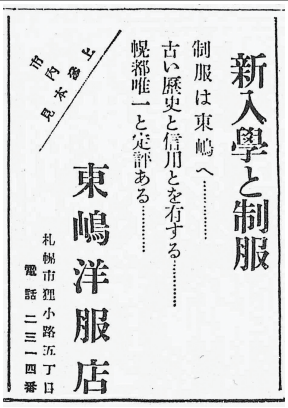
サッポロビール（狸小路２）
〔1933年６月20日付、４面〕



サッポロビール（狸小路２）
〔1938年４月19日付、６面〕



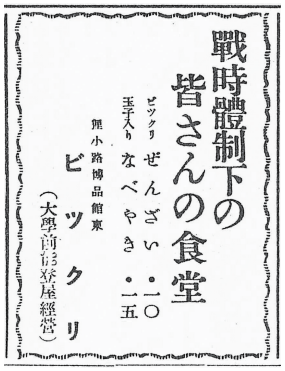
日新（南４西９）
〔1935年４月２日付、４面〕



東島洋服店（狸小路５）
〔1927年４月22日付、６面〕

山本眼鏡店（南４西４）
〔1930年４月７日付、４面〕

赤塚洋服部（狸小路３）
〔1929年６月３日付、３面〕



ビックリ（狸小路６）
〔1937年10月12日付、４面〕

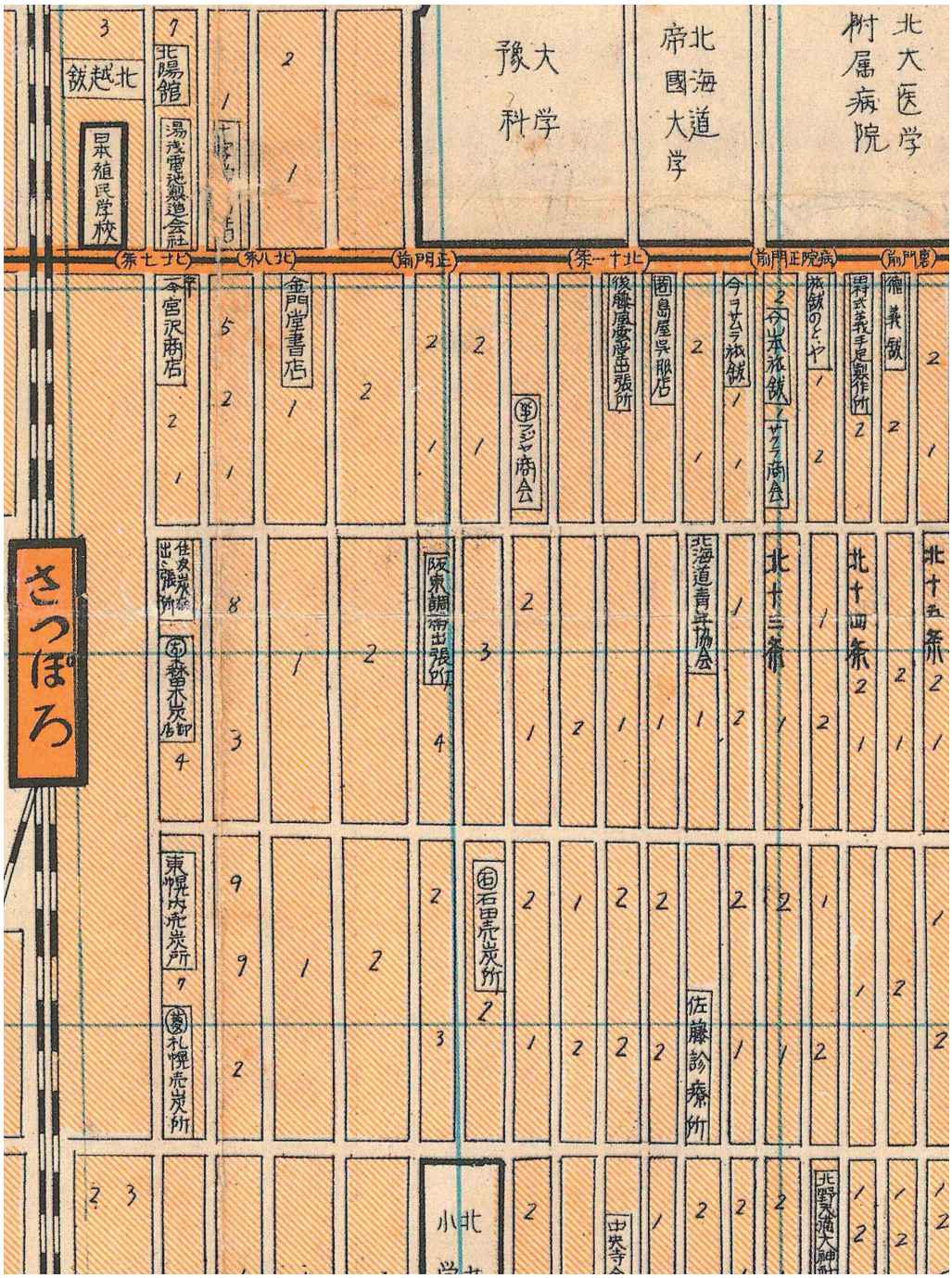
白十字堂（南４西４）
〔1927年11月７日付、１面〕

札幌万年堂（南４西３）
〔1927年10月18日付、１面〕

［注］（１）　キャプション１行目は、「　」内に店名を、（　）内に商店の所在地を記載した。なお、所在地の推定には、広告の記載のほか「大日本職業別明細之内札幌市」（1925年）、「札幌市制紀念人名案内図」（1926年）、「大日本職業別明細図　札幌市」（1929、1931、1936年）を用い、移転等により複数の所在地がある場合には「大日本職業別明細図　札幌市」（1936年）の記載を優先した。
（２）　キャプション２行目は、広告が掲載された『北海道帝国大学新聞』の発行日、頁数を記載した。

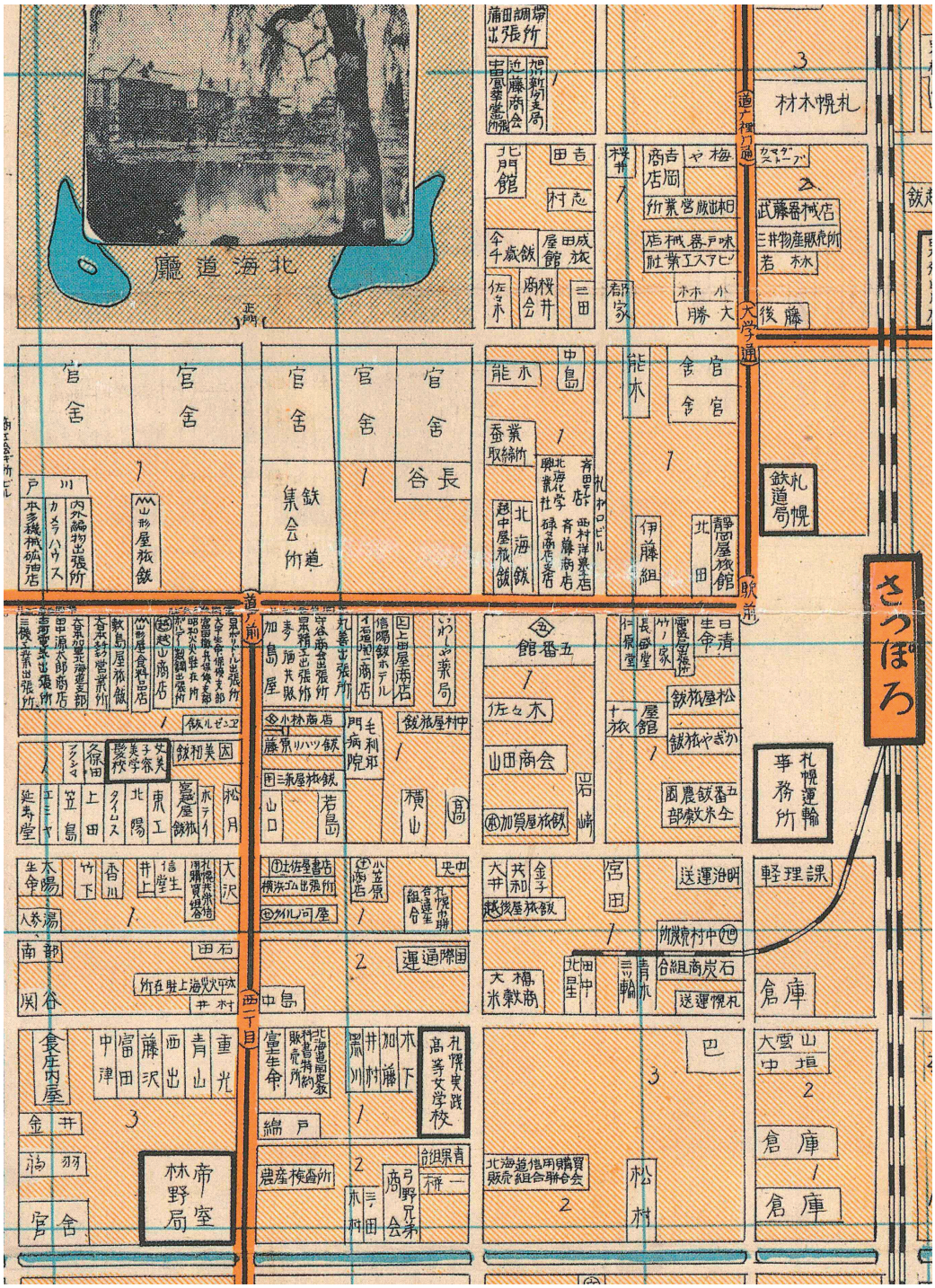
4．地図

Ⅰ．北大界隈
北７～北15条、西１～西５丁目あたり



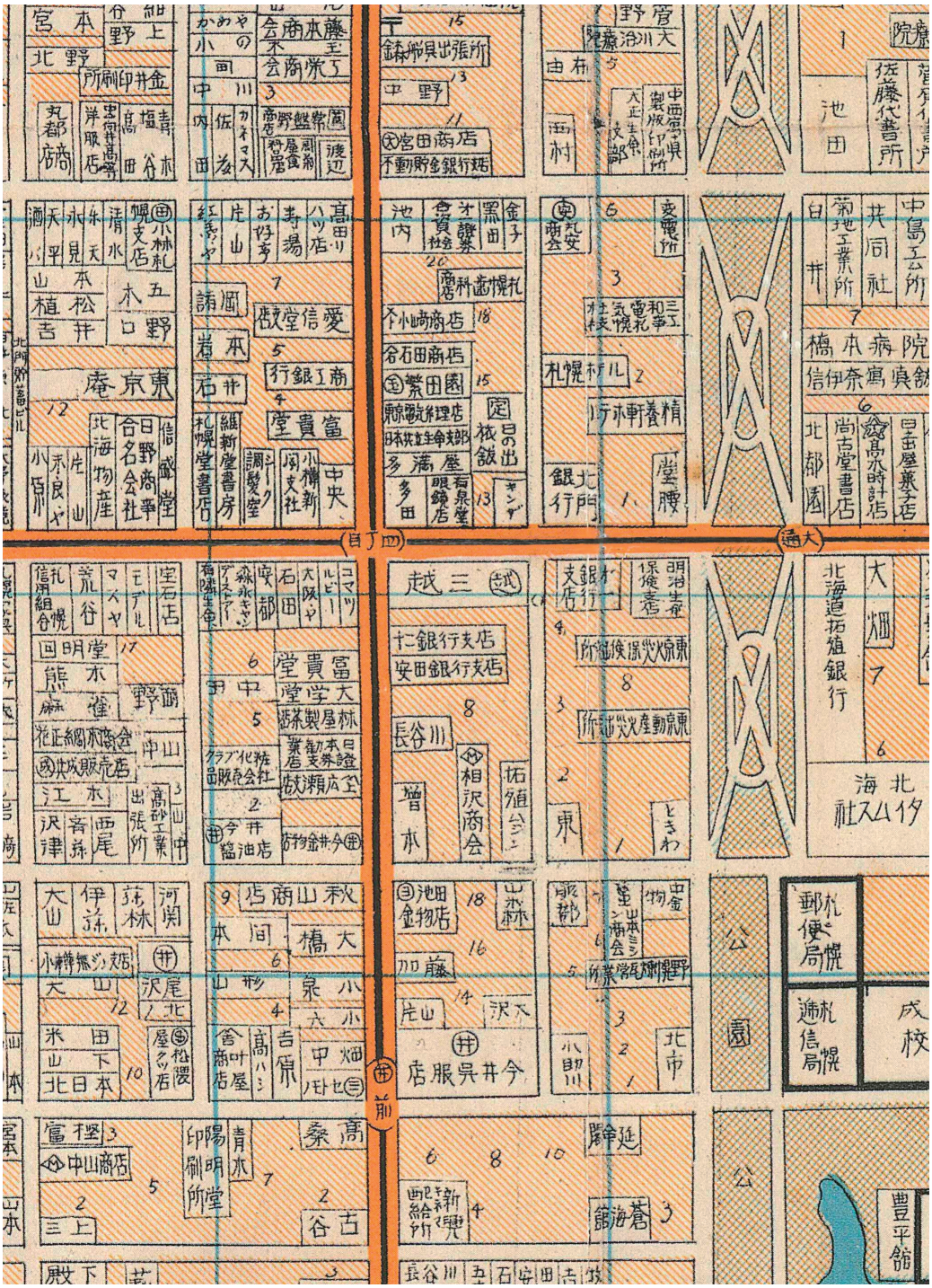
Ⅱ．札幌駅前界隈

北２～北６条、西１～西６丁目あたり


北海道廳
さっぽろ
札幌運輸事務所
鉄道局幌
官舎
官舎
官舎

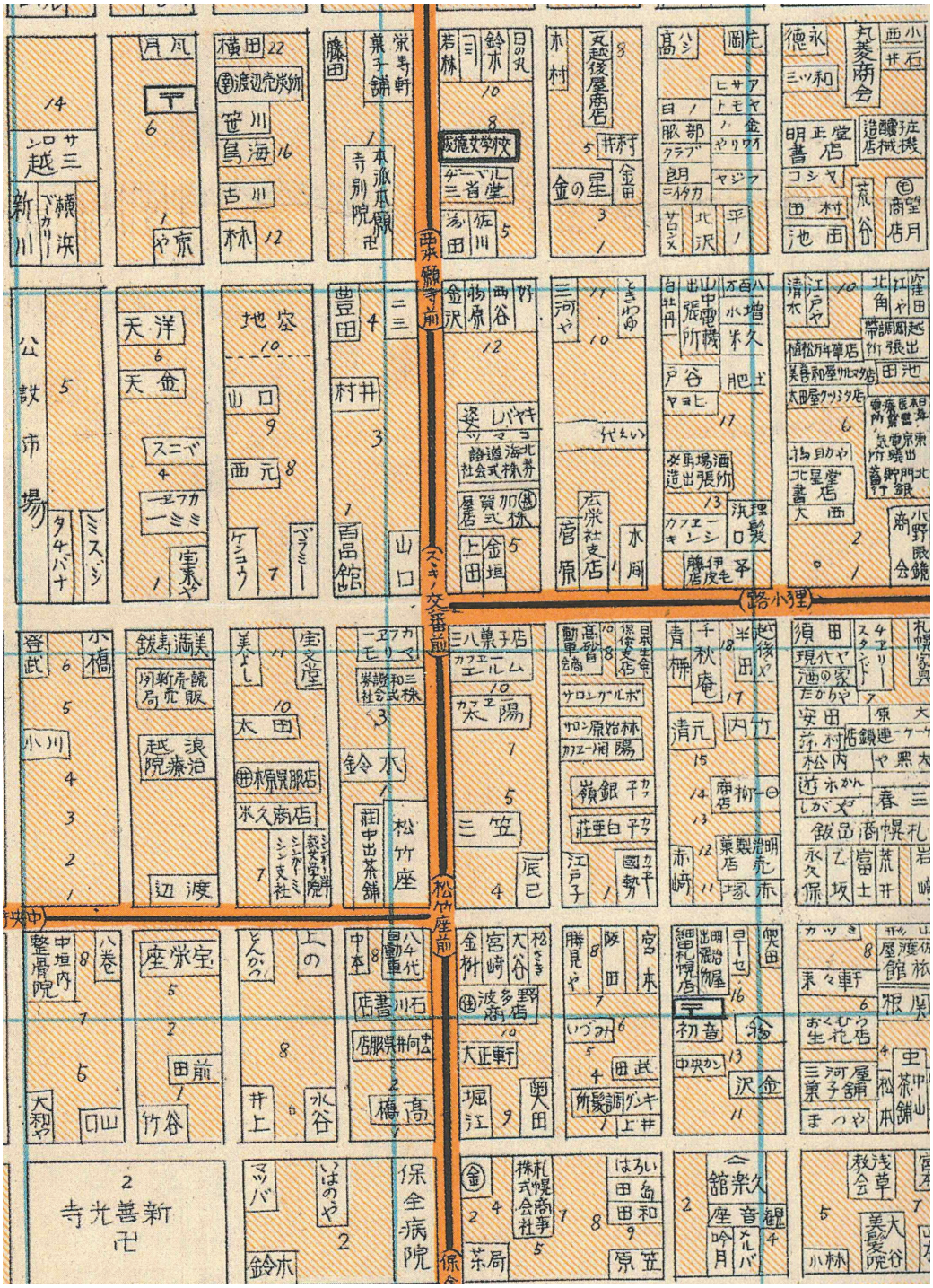
Ⅲ．南一条通り界隈

北１～南２条、西１～西５丁目あたり



Ⅳ．狸小路・すすきの界隈

南２～南６条、西１～西５丁目あたり



5．回想パネル

Ⅰ．書店

◆富貴堂、維新堂という書籍店があり、学生が絶えず出入していたものである。

（増田収、農学実科1921年卒業／
『札幌同窓会誌』第４号、1970年）

◆知識学問の媒介者である書店は富貴堂と維新堂とに限られ、その他に尚古堂という古本屋が一軒あった。

（田辺勝正、農業経済学科1920年卒業／
『札幌同窓会誌』第２号、1967年）

◆本屋では四丁目に富貴堂、維新堂などの新本を扱う店や大学正門前に丸善があった。

（瀬川清、林学実科1934年卒業／
『札幌同窓会誌』第６号、1980年）

みんなで立ち読み
〔予科農類1941年修了記念アルバム〕

Ⅱ．百貨店

◆駅前に赤レンガ造りの五番館という百貨店があり、農機具、種苗、北海道土産物などを主として扱っていたようである。南一条通りに丸井百貨店があり、これは、本式の百貨店であったと覚えている。

（増田収、農学実科1921年卒業／
『札幌同窓会誌』第４号、1970年）

◆五番舘は洋品等の高級雑貨を販売する店で、札幌市民の文化生活の向上に役立ったが、品物の価格が高いので貧乏書生の吾々には縁がなかった。

（田辺勝正、農業経済学科1920年卒業／
『札幌同窓会誌』第２号、1967年）

三越の屋上にて
〔予科1930–40年代アルバム〕

五番舘前を歩く
〔農学実科1927年卒業記念アルバム〕

Ⅲ．狸小路

◆たぬき小路に、サッポロビール直営ビヤホールというのがあって、時たま、浩然の気を養ったものであった。

（増田収、農学実科1921年卒業／『札幌同窓会誌』第４号、1970年）

◆（期末試験は）今日でしまい、帰りは狸小路の直営にでも寄って、ぐいーっと二リッターぐらい

（菊池光夫、林学実科1932年卒業／『札幌同窓会誌』第６号、1980年）

◆狸小路のサッポロビールの直営ビヤホール……などが学生コンパによく利用され、一人一円位の会費で充分堪能できた。

（瀬川清、林学実科1934年卒業／『札幌同窓会誌』第６号、1980年）

ジョッキで乾杯！

〔医学部1937年卒業記念アルバム〕

Ⅳ．映画館

◆毎週土曜日の晩、欠かさないで道庁前のエンゼル館（当時の活動写真館）へ通ったものだ。……夜十一時過ぎまで観劇、戸外に出て涼気にふれるトタンに興奮がスーッとさめて、人知れぬ孤愁におそわるのが常であった

（樋浦誠、農業生物学科1922年卒業／『札幌同窓会誌』第３号、1968年）

◆映画はよく薄野の美満寿館に行って、熊谷暁風の弁舌を楽んだ。

（玉田恵三郎、農学実科1924年卒業／『札幌同窓会誌』第４号、1970年）

◆当時は畳敷が多く、松竹座だけが椅子席であった。……昭和六年（1931年）八月我国初のトーキー「マダムと女房」が松竹座で上映されたときは、鼠の鳴声まできこえたと珍らしがられた。

（瀬川清、林学実科1934年卒業／『札幌同窓会誌』第６号、1980年）

松竹座のチケット売り場

〔予科1930–40年代アルバム〕

6．陳列資料目録

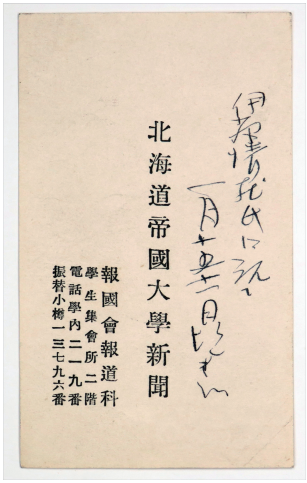
Ⅰ．　北大界隈	
Ⅰ–1	北海道帝国大学新聞　第１号（1926年５月14日）
	沿革資料／中島九郎関係資料0308

創基50周年記念式典の挙行当日に創刊した大学新聞。大学御用達の業者（五番舘、豊平館、武林写真館、信伊奈写真館、藤井商店、丸善、富貴堂、岩井靴店、維新堂書房など）が、祝辞を兼ねて広告をよせた。

Ⅰ-2	北海道帝国大学新聞の名刺（1941-45年頃）
Ⅰ-3	1940年度文武会役員

沿革資料／高岡熊雄旧蔵名刺、宍戸昌夫旧蔵写真

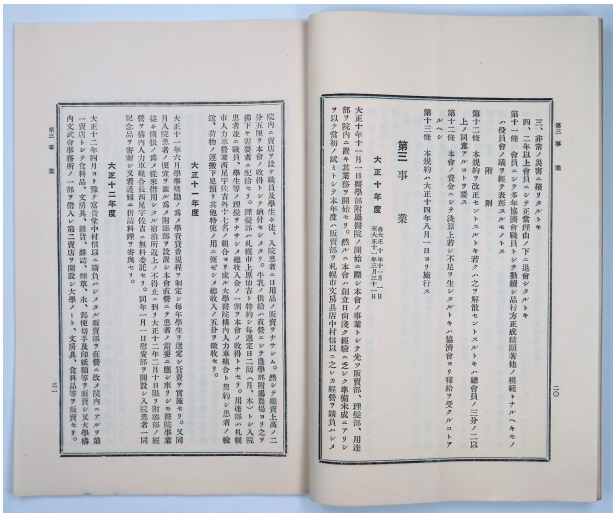
『北海道帝国大学新聞』は、北大の教官・学生生徒等から構成される学友会団体「北海道帝国大学文武会」（1901年創立）の機関紙。同会新聞部が編集・発行を担った。

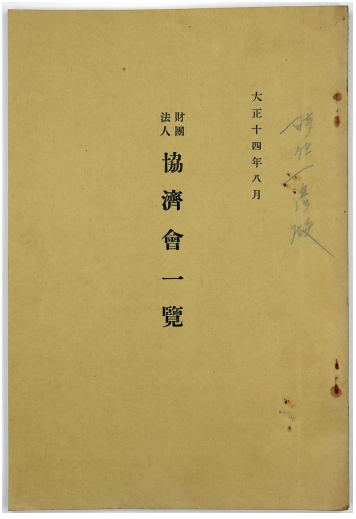


Ⅰ-4	協済会と富貴堂（1925年）

沿革資料／時任一彦関係資料0029

財団法人協済会は、医学部附属医院の開院にあわせて、会頭に佐藤昌介総長、理事長に工藤直方事務官のもと、1921年12月に設立された。協済会は医院内に販売部・理髪部・用達部を置き、販売部（売店）の営業を1923年３月まで富貴堂（中村信以）に、用達部の営業を人力車組合へ依託した。その他、看護補助人（添婦）の斡旋、学生への奨学金貸与事業や、中央食堂や予科売店（第二売店）の営業にも携わった。

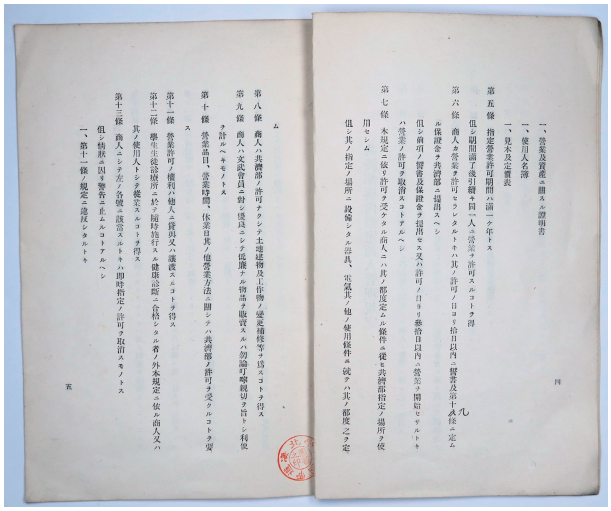


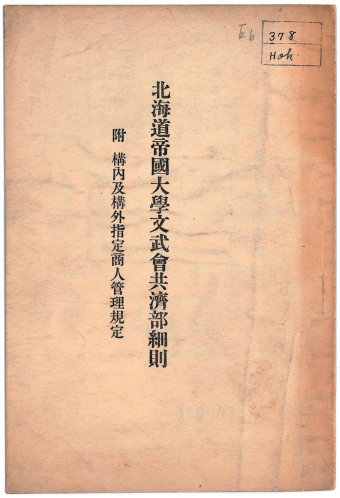


Ⅰ–5	文武会共済部による構内指定商人管理規定（1931年）

沿革資料／『北海道帝国大学文武会共済部細則』

1929年各大学において学生生徒の福利厚生施設の設置要望がおき、文部省が学生課の管理を条件に許可することとなった。北大では「文武会共済部」を1931年４月に開設し、「構内指定商人管理規定」のもと、学内の売店・食堂を取り仕切った。同規定第九条では、商人は文武会会員に対して、“優良で低廉な物品を販売するのはもちろん、親切に応対し、利便を図るよう”定めている。

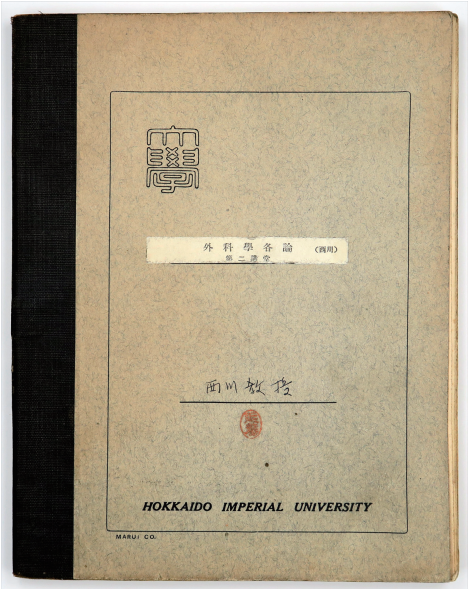




Ⅰ–6	MARUI 製の北海道帝国大学ノート（1931–33年頃）

沿革資料／近藤角五郎関係資料0009

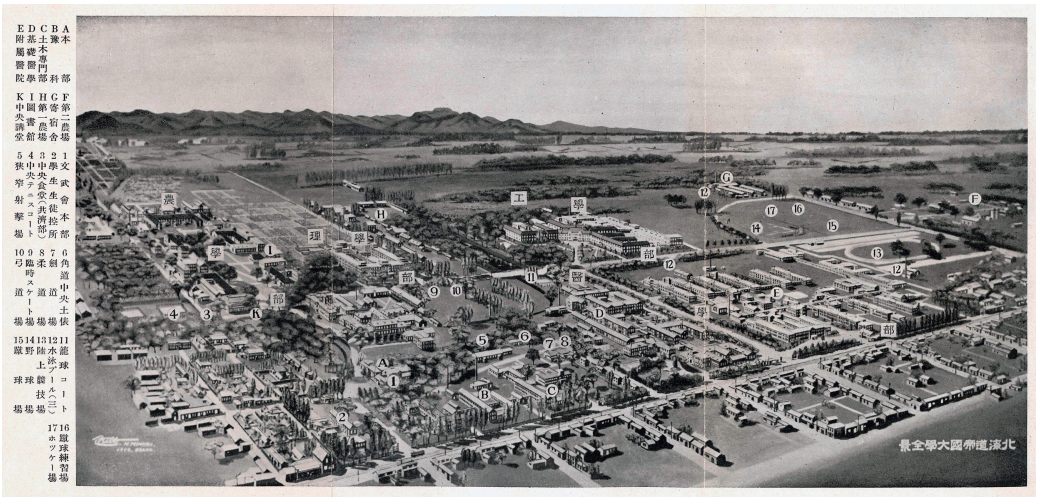
文武会共済部は、1931年４月、正門近くの学生生徒控所内に「売店」と「喫茶部」を開店した。売店の営業は今井呉服店（南１条西２丁目）が受託し、学用品・運動用具・食品・雑貨・洋服・靴を取り扱った。大学ノートは１冊16銭(1931年現在)で販売された。



Ⅰ−7	大学構内の売店・食堂（1936年）

沿革資料／『文武会紹介　昭和十一年五月』

キャンパス平面図中、②学生生徒控所内に売店・喫茶部（営業：今井呉服店）と食堂（営業：豊平館出張所）、クラーク博士胸像の南西側に③中央食堂（営業：共済部）、Ⓑ予科講堂内に売店、工学部内に食堂（営業：共済部）・職員食堂（営業：豊平館出張所）、Ⓔ附属医院内に売店・食堂があった。



Ⅰ−8	工学部内の職員食堂のランチ皿（1927年頃）

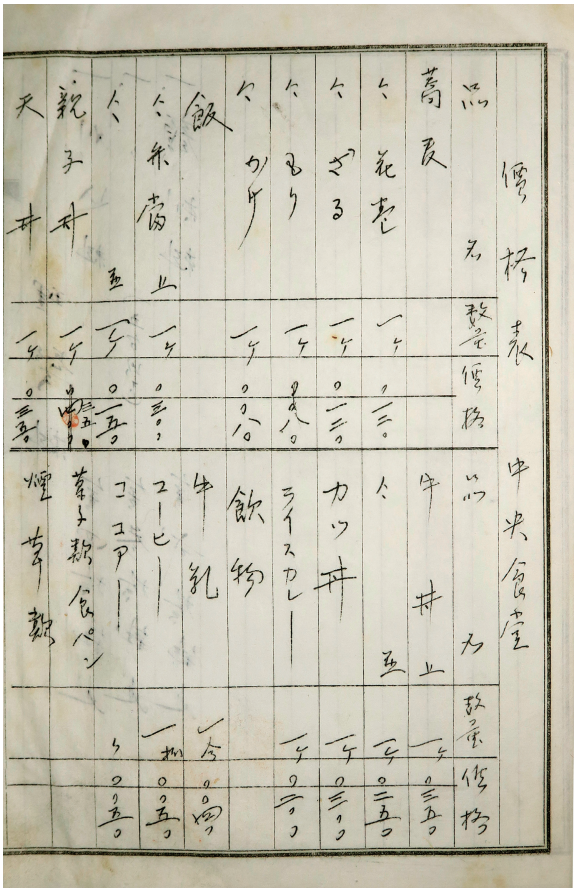
沿革資料／工学部旧蔵

豊平館出張所が営業する職員食堂では、Ａランチ（30銭）は職員向け、Ｂランチ（15銭）は学生向けに備えた食事であった。

I –9	中央食堂の価格表（1930年）

公文書／帝国大学期簿書0433

中央食堂では、親子丼・天丼・牛丼35銭、カツ丼30銭、お弁当(上：30銭、並：15銭)、ライスカレー20銭、花巻・ざる蕎麦12銭、かけ・もり蕎麦８銭、コーヒー・ココア５銭、牛乳４銭などを供した。



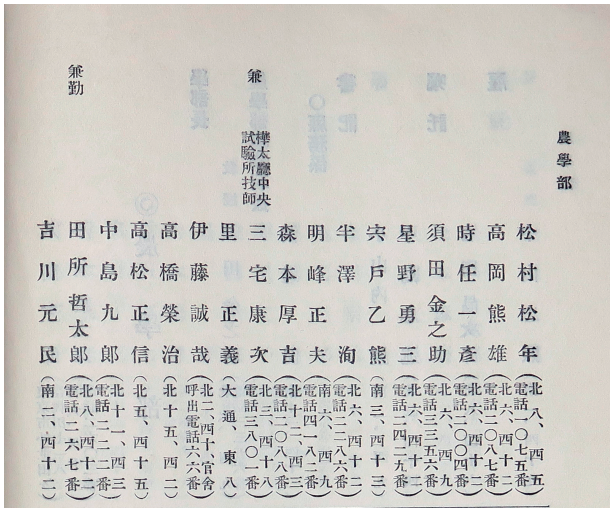
I –10	予科生徒の談笑（大学内の食堂か、1930–40年代）
I –11	中華料理店“竹屋”で開催した予科生徒クラス会（1930–40年代）

沿革資料／予科農類1943年修了アルバム、予科1930–40年代アルバム

Ⅰ-12	森本厚吉教授の住居（1931年10月）
Ⅰ-13	旧有島邸（1976年頃撮影）

沿革資料／『職員住所録　昭和六年十月一日現在』、沿革写真125-565

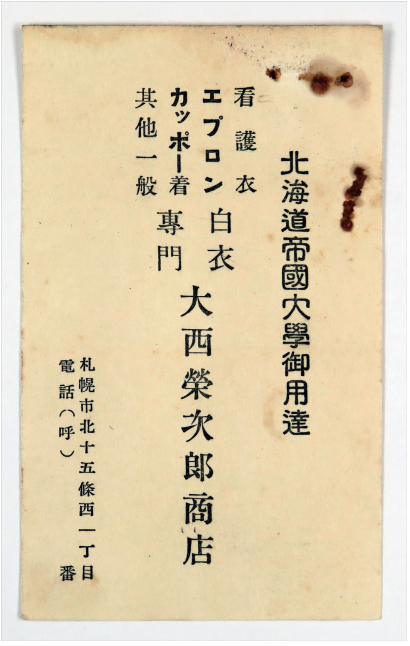
有島武郎（1901年卒業、1907～17年予科講師・教授）が北12条西３丁目１番地に建てた洋館は、有島離職後、同期の消費経済学者の森本厚吉（1918～32年教授）が購入して住んだ。1930～40年には、家庭生活の経済的な合理化を目指して森本が提唱した「文化生活」普及運動の模範住宅「文化アパートメント」の札幌支部として使用された。大学新聞に掲出された広告「文化アパート」の住所・電話番号は、森本邸（旧有島邸）と一致する。



Ⅰ-14	大西栄次郎商店の名刺（1935年）

沿革資料／恵迪寮関係資料0341

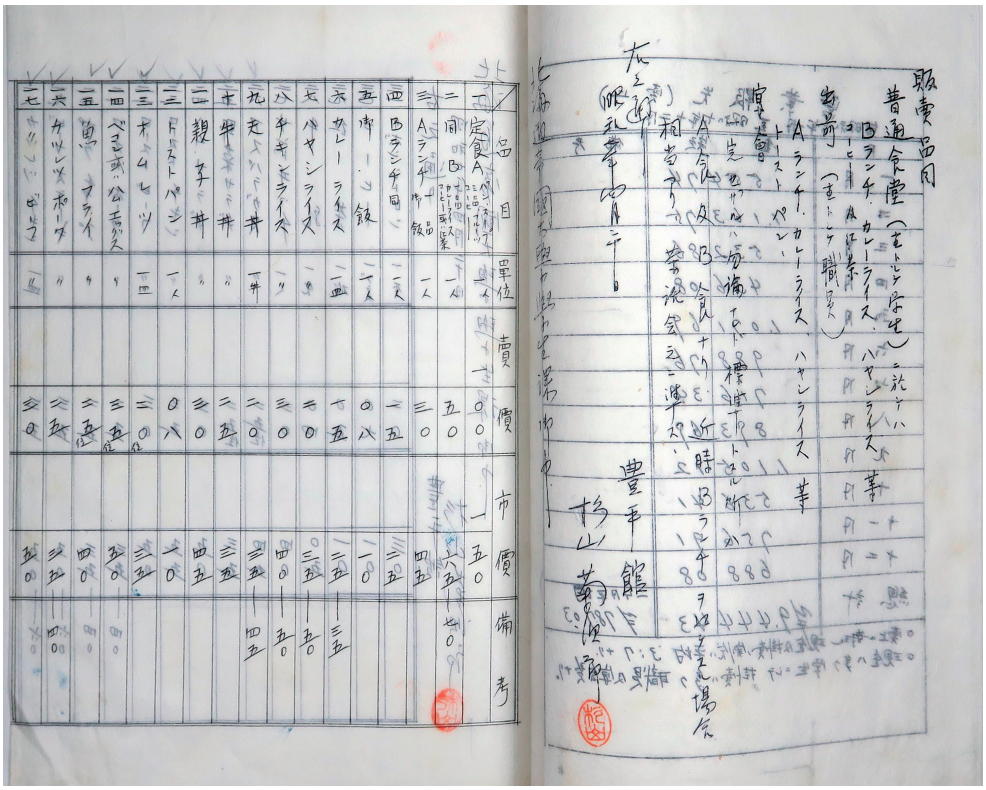
大西栄次郎商店（北15条西１丁目、通称：大西洋服店）は附属医院近隣の衣料品店で、白衣・看護服・前掛け（エプロン）・割烹着などを取り扱っていた。恵迪寮の日誌（1935年４月24日の条）には、40銭の前掛け３枚、１円50銭の上衣５着を大西洋服店が配達している記述がある。



Ⅰ–15	豊平館出張所が営む食堂の価格表（1932年）

公文書／帝国大学期簿書0433

豊平館出張所営業の食堂では、ローストチキンが35銭、チキンライス・ビーフカツレツ・サンドウィッチが30銭、魚フライ・ビーフステーキ・ポークチョップが25銭、ハヤシライス・オムレツが20銭など、洒落た洋食を提供した。大学新聞に掲出された広告「一円定食」（定食A）は最も高価な食事で、パン・スープ・料理３品・フルーツ・コーヒーを供したものであった。



Ⅰ–16	恵迪寮の購買部（1930年代）

沿革資料／恵迪寮アルバム５

恵迪寮では、自炊実施のため、1934年に購買部の自営を復活させた。

Ⅰ−17	電停「北大正門前」
Ⅰ−18	澤田商店が掲示していた看板「電券あります」

沿革資料

1971年12月まで北大敷地の東側沿いを札幌市電鉄北線が走っていた。北大正門付近に電停「北大正門前」があった。正門前の商店「澤田商店」（北９条西４丁目）は、電車の乗車券「電券」の販売を委託されていた。

Ⅰ−19	“名曲喫茶”でベートーヴェン三昧（1930–40年代）

沿革資料／予科農類1943年修了アルバム

Ⅰ–20	「都ぞ弥生」・「瓔珞みがく」録音のコロンビア製レコード（1931年）

沿革資料／前川公美夫氏寄贈資料

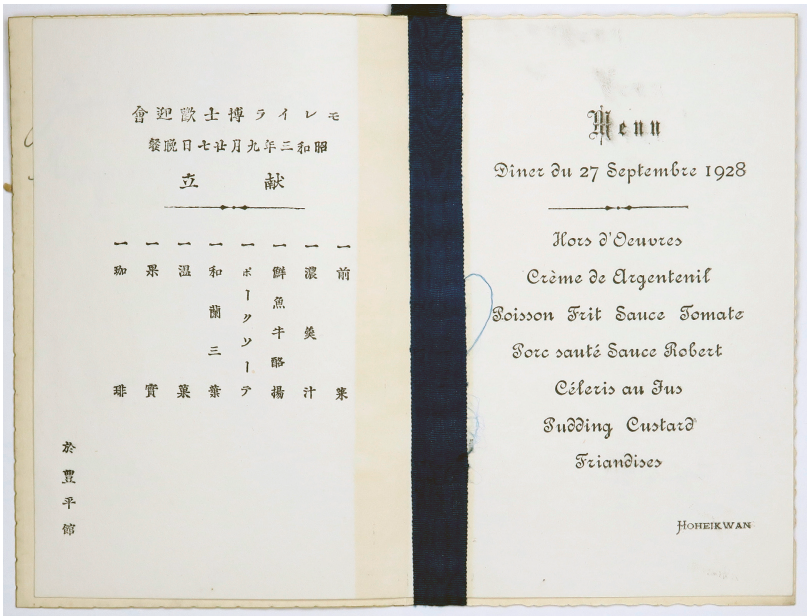
文武会音楽部の合唱部員６名の歌唱を録音したSPレコード。レコードA面には寮歌「都ぞ弥生」、B面には予科桜星会歌「瓔珞みがく」をおさめている。大学新聞には岩泉商会蓄音器部（北７条西３丁目）が、“レコード１枚でも配達します”と広告を出している。

Ⅱ．北大駅前通り界隈

Ⅱ–1	モレイラ博士歓迎会の献立（1928年９月27日、於：豊平館）

沿革資料／高岡熊雄旧蔵

格式ある洋食を提供した豊平館（北１条西１丁目）は、大学行事の際や、歓迎会・送別会・謝恩会など、教官が出席する食事会で使用されることが多かった。



モレイラ博士歓迎會
昭和三年九月廿七日於豊平館
献立
一　前菜
一　濃汁　美
一　鮮魚牛酪揚
一　ポークソーテ
一　和蘭三葉
一　温菓菓
一　果實
一　珈琲

Menu
Dîner du 27 Septembre 1928
Hors d'Oeuvres
Crème de Argentenil
Poisson Frit Sauce Tomate
Porc sauté Sauce Robert
Céleris au Jus
Pudding Custard
Friandises
HOHEIKWAN

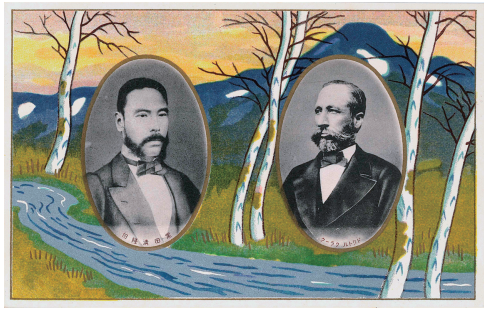
Ⅱ-2	“札幌グランドホテル”で開催した陸上競技部送別会（1937年２月12日）

沿革資料／高松正信関係資料0134

Ⅱ-3	富貴堂・維新堂書房が発行した北大関連の絵葉書（1910–20年代）

沿革資料／絵葉書資料（高尾彰一旧蔵ほか）

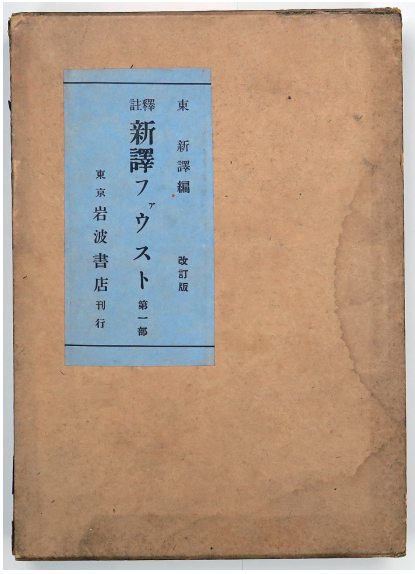
1926年の創基50周年（黒田清隆・クラーク博士柄、富貴堂製）や、1917年開催の第31回遊戯会（富貴堂製）の記念絵葉書のほか、1920年代後半の農・医・工学部（維新堂書房製）など、大学構内の風景を切り取った数多くの絵葉書が製作された。



Ⅱ–4	予科生徒が愛読したゲーテ『ファウスト』

沿革資料／山崎敏晴氏寄贈資料

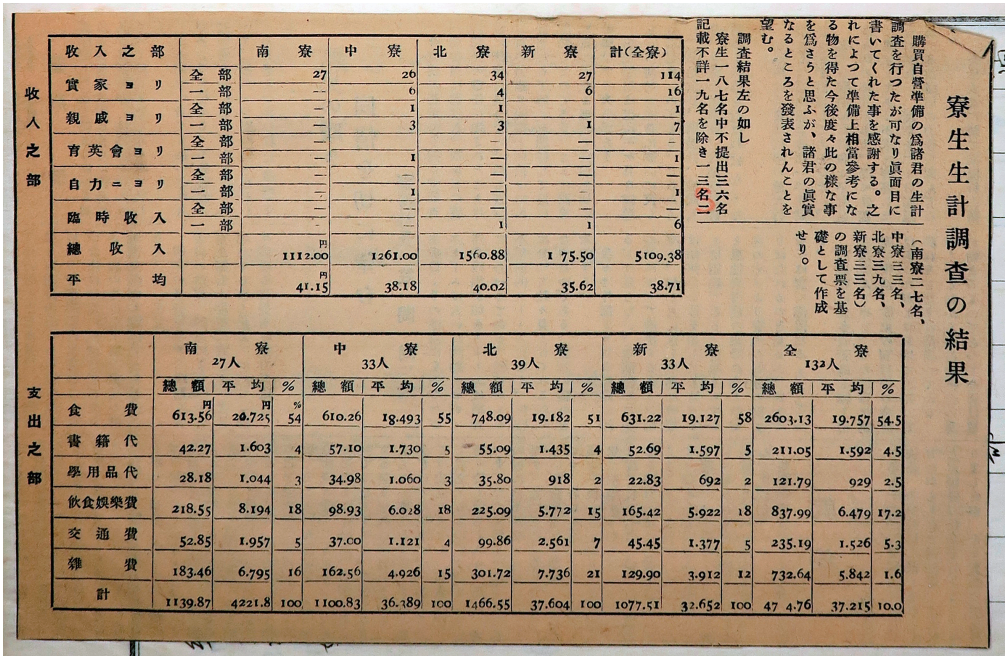
夏目漱石門下の東新は、北大の予科教授としてドイツ語を担当、ゲーテ『ファウスト』の翻訳書（森田草平・東新の共訳版・文武堂書店・1918年発行、新訳版・岩波書店・1921・25年発行など）も著している。



Ⅱ–5	恵迪寮生の生活費の割合（1933年）

沿革資料／恵迪寮関係資料0337

全寮132人（南寮27人、中寮33人、北寮39人、新寮33人）の生計調査から、恵迪寮生の生活費のやりくりがうかがえる。生活費は実家からの主に仕送りでまかない、支出の割合は、正しく計算すると、食費が55.9％と半分以上を占め、飲食娯楽費が15.2％、交通費が5.1％、書籍費が4.5％、学用品費が2.6％、雑費が16.7％であった。



寮生生計調査の結果

購買自習準備の爲諸君の生計調査を行つたが可なり眞面目に書いてくれた事を感謝する。之れによつて準備上相當參考になる物を得た今後度々此の樣な事を爲さうと思ふが、諸君の眞實なるところを發表されんことを望む。

調査結果左の如し

寮生一八七名中不提出三六名記載不詳一九名を除き一三名二（南寮二七名、中寮三三名、北寮三九名、新寮三三名）の調査票を基礎として作成せり。

收入之部

收入之部		南寮	中寮	北寮	新寮	計(全寮)
實家ヨリ	全部	27	26	34	27	114
	一部	—	6	4	6	16
親戚ヨリ	全部	—	1	1		1
	一部	—	3	3	1	7
育英會ヨリ	全部	—	—	—	—	—
	一部	—	1	—	—	1
自力ニヨリ	全部	—	—	—	—	—
	一部	—	1	—	—	1
臨時收入	全部	—	—	—	—	—
	一部	—	—	1	1	6
總收入		円 1112.00	1261.00	1560.88	1 75.50	5109.38
平均		円 41.15	38.18	40.02	35.62	38.71

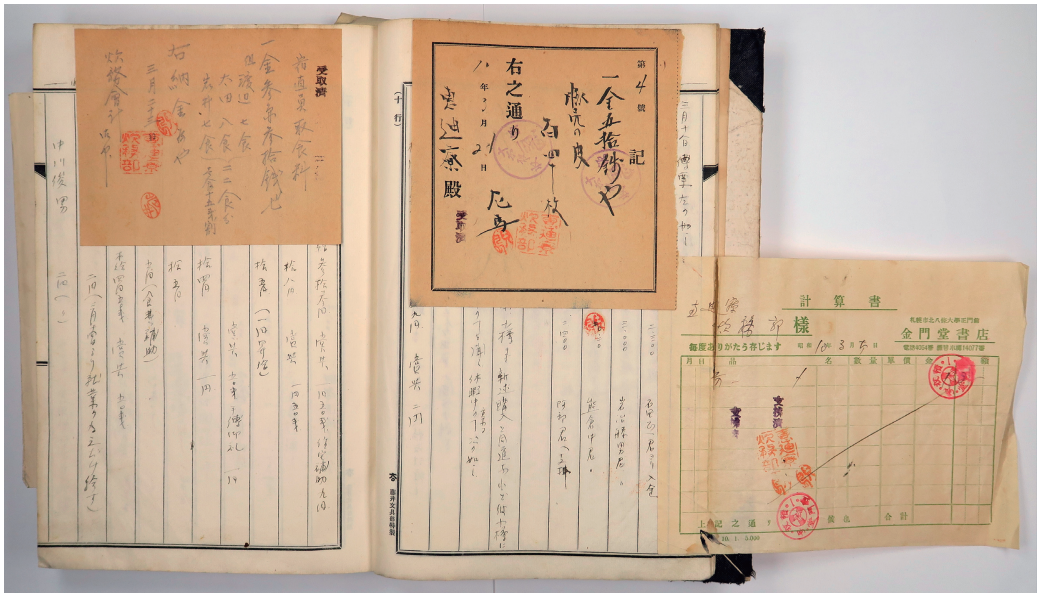
支出之部

	南寮 27人			中寮 33人			北寮 39人			新寮 33人			全寮 132人		
	總額	平均	%	總額	平均	%	總額	平均	%	總額	平均	%	總額	平均	%
食費	円 613.56	円 20.725	% 54	610.26	18.493	55	748.09	19.182	51	631.22	19.127	58	2603.13	19.757	54.5
書籍代	42.27	1.603	4	57.10	1.730	5	55.09	1.435	4	52.69	1.597	5	211.05	1.592	4.5
學用品代	28.18	1.044	3	34.98	1.060	3	35.80	918	2	22.83	692	2	121.79	929	2.5
飲食娯樂費	218.55	8.194	18	98.93	6.028	18	225.09	5.772	15	165.42	5.922	18	837.99	6.479	17.2
交通費	52.85	1.957	5	37.00	1.121	4	99.86	2.561	7	45.45	1.377	5	235.19	1.526	5.3
雜費	183.46	6.795	16	162.56	4.926	15	301.72	7.736	21	129.90	3.912	12	732.64	5.842	1.6
計	1139.87	4221.8	100	1100.83	36.389	100	1466.55	37.604	100	1077.51	32.652	100	47 4.76	37.215	10.0

Ⅱ−6	バナナは石田屋、洋菓子はニシムラ、料理は精養軒（1935年４月）

沿革資料／恵迪寮関係資料0330

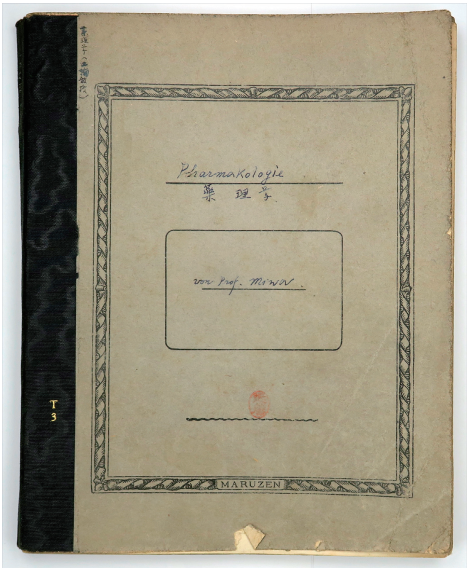
恵迪寮では“自炊復活晩餐会”（４月29日開催）にむけて、バナナ・りんごは石田屋商店（北３条西３丁目）、菓子は西村洋菓子店（北３条西４丁目）、ビールは大日本麦酒㈱札幌支店、料理は精養軒（大通西５丁目）から調達した。1935年の「炊務会計記録」には、金門堂書店（北７条西４丁目）、ロバパン（食パン：７斤半で75銭）、今井商店（鰻の蒲焼250人前、57円50銭）などの記述、伝票が見られる。



Ⅱ−7	丸善製のノート（1931−33年頃）

沿革資料／近藤角五郎関係資料0019

近藤角五郎(医学部1934年卒業)使用の丸善製ノート。三輪誠教授の講義「薬理学」を受講したもの。



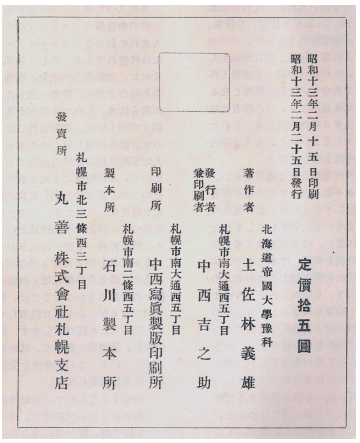
Ⅱ–8	土佐林義雄『北海道帝国大学写真』（1938年発行）

沿革資料／安井三郎旧蔵

丸善株式会社札幌支店（北３条西３丁目）は、予科の土佐林義雄講師（図学担当）が撮影・編集した写真帖（１冊15円）の販売も行った。

中扉

貼付写真（農学部校庭）



奥付

Ⅱ–9	徽章・文武会メダル・煙草ケース（1930–40年代）

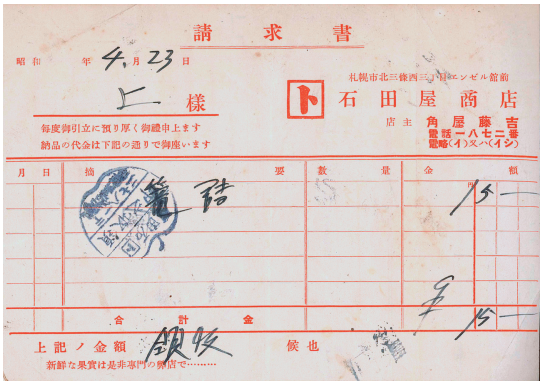
沿革資料／中島九郎、宍戸昌夫、東新旧蔵

予科生徒の丸帽用の桜星徽章、学部学生の角帽用の徽章「大學」、文武会企画の記念メダル（桜花・冑柄のメダル：1937年製、クラーク博士図柄のメダル）、東新教授に予科生徒から贈呈された煙草ケース（1935年）。徽章や銀製品の製作・販売所も、北大生の御用達であった。

Ⅱ−10	石田屋商店の請求書（1939年４月23日）
Ⅱ−11	石田屋商店のりんごが供された晩餐会（1934年９月25日）

沿革資料／恵迪寮関係資料0339、恵迪寮アルバム５

バスケット詰の果物15銭の請求書。りんご型の領収印が愛らしい。当時、教室・寮・文武会等が催す饗宴のデザートには、一人に付きりんご１個が供されることが多かった。


請　求　書

昭和　年 4月 23日

様

札幌市北三條西三丁目ユンゼル館前
石田屋商店
店主 角屋藤吉
電話一八七二番
電略(イ)又ハ(イシ)

毎度御引立に預り厚く御禮申上ます
納品の代金は下記の通りで御座います

月日	摘要	数量	金額
	詰		15—
			15—

合計金
上記ノ金額 領收 候也
新鮮な果實は是非專門の御店で……

Ⅱ−12	停車場通りに面した五番舘（1918年）
Ⅱ−13	表札「札幌興農園」を掲げる五番舘

沿革資料／絵葉書資料（高尾彰一旧蔵ほか）

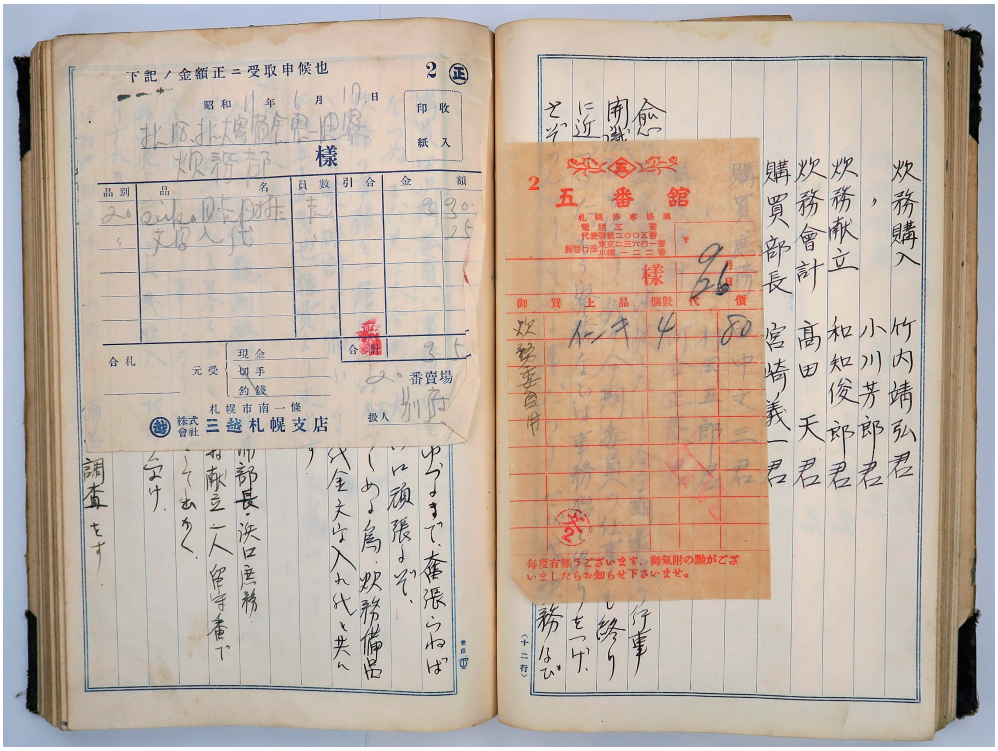
停車場前から南を望む

1906年建築の初代五番舘

Ⅱ–14	五番舘と三越の領収証（1936年）

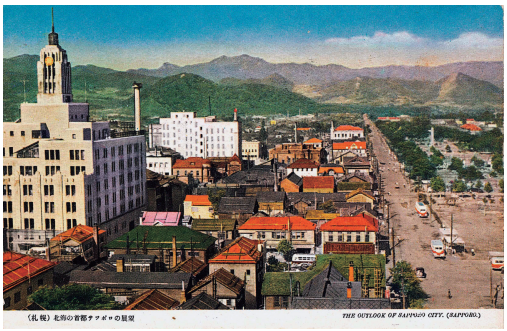
沿革資料／恵迪寮関係資料0331

1932年５月開店の三越札幌支店（南１条西３丁目）は、地下１階・地上７階建の百貨店で、学生にとっては高嶺の花であった。領収書は、三越で SEIKO 製の目覚時計１台（３円30銭）を、五番舘で日用品のインク４個（80銭）を買い求めた際のもの。

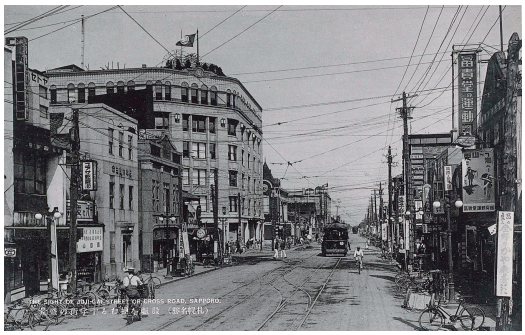


Ⅲ．南一条通り界隈	
Ⅲ–1	大通りを南西に望む（1930–40年代）
Ⅲ–2	十字街（南１条西４丁目）の盛景（1930–40年代）

沿革資料／絵葉書資料



尖塔（航空灯台）を擁する今井呉服店

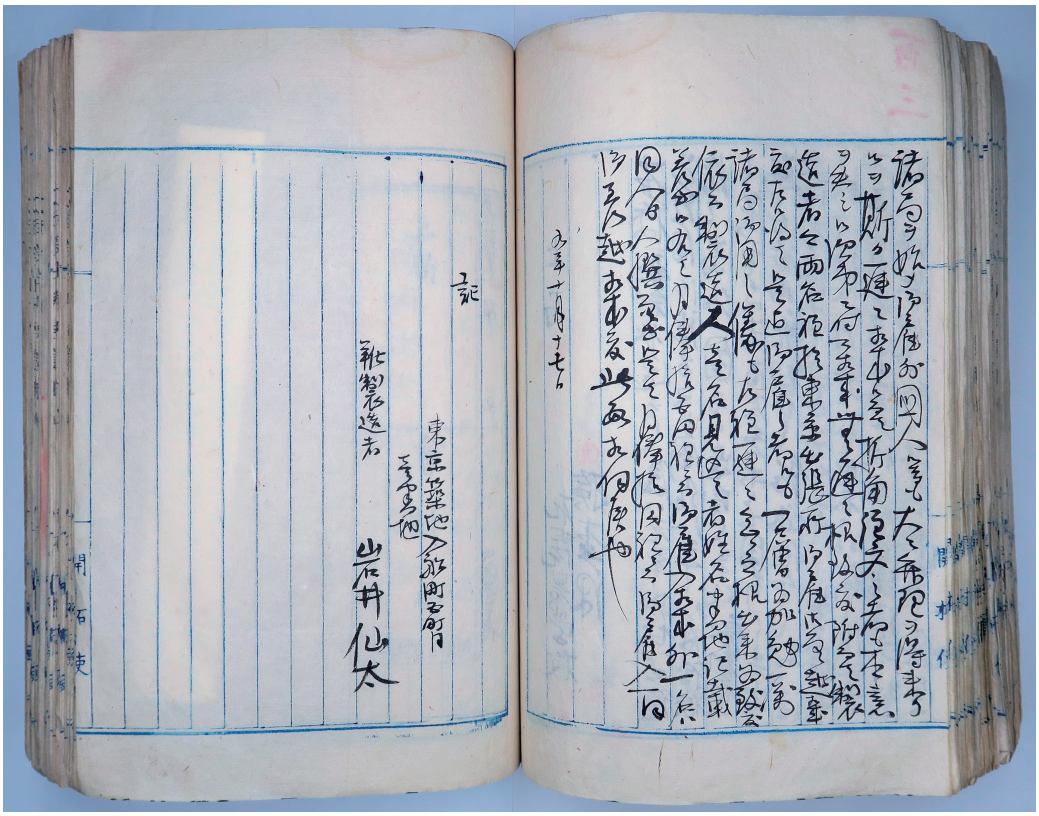


左手に三越札幌支店、右手に富貴堂

Ⅲ−3	札幌農学校が雇った靴製造者の名は“イワイ”（1876年10月17日）

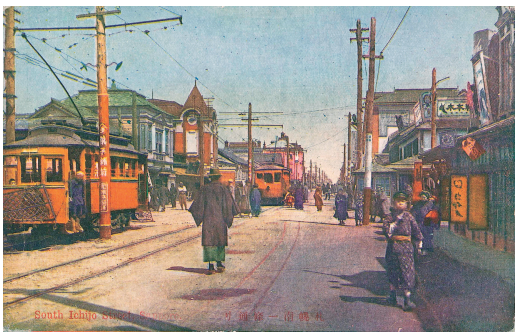
公文書／札幌農学校簿書0059

札幌農学校（1876年８月開校）では、学生の基本的な服装を洋装としたため、革靴を支給する必要があった。革靴の製造・修繕のため、靴職人として何人か雇ったが注文通りの靴ができず、1876年10月17日、東京築地入船町の岩井仙太を雇うことに決めた。



Ⅲ−4、Ⅲ−5	南一条通り（十字街界隈）

沿革資料／絵葉書資料（高尾彰一旧蔵）



京屋呉服店（跡地に三越百貨店）、トンガリ屋根の十二銀行などの店舗が立ち並ぶ

Ⅲ–6	札幌農学校の頃から重用した写真館の袋（1900–20、40年代）

沿革資料／高松正信旧蔵

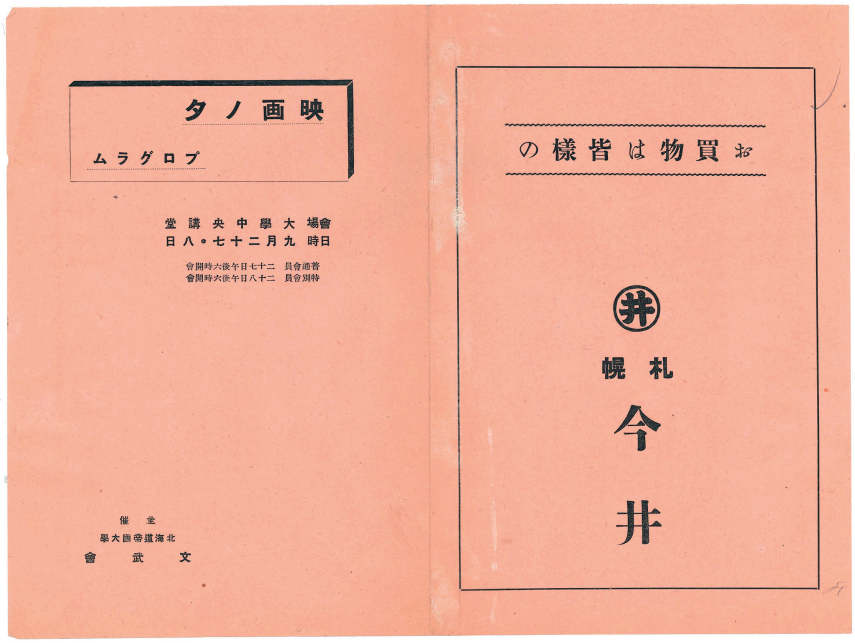
武林写真館（南３条西１丁目、後に北１条西７丁目）や信伊奈写真館（南１条西３丁目）は、札幌農学校の頃からの御用達。三春写真館（南２条西３丁目）は、帝国大学時期の集合写真や卒業記念アルバムに見受けられる。各写真館は写真貼付の台紙や収納袋に各写真館の店名を印刷し、意匠を凝らした。

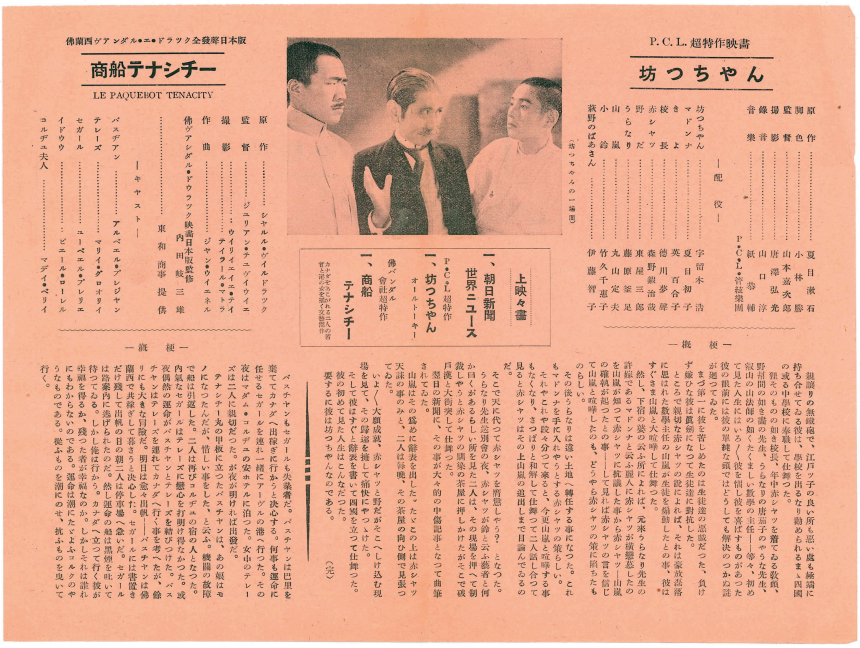
Ⅲ–7	八百屋の店頭で照明計測実験をする工学部学生たち（1930–40年代）

沿革資料／工学部電気工学科1942年卒業アルバム

Ⅲ−8	プログラム“映画ノタ”に掲出された今井呉服店の広告（1935年９月）
	公文書／帝国大学期簿書0427

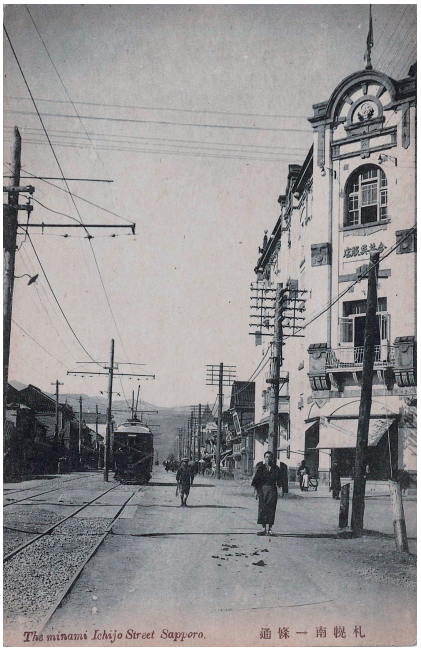
文武会は、各部の様々な催し物を公開する“文武会デー”を、春・秋季の年２回開催した。1935年度の文武会デーの“映画ノタ”では、日本映画「坊っちゃん」（山本嘉次郎監督、校長役に徳川夢声）とフランス映画「商船テナシチー」を上映した。




P.C.L. 超特作映畫
坊つちやん
原作……夏目漱石
脚色……小林勝
監督……山本嘉次郎
撮影……唐澤弘光
録音……山口哲平
音樂……P.C.L.管絃樂團
—配役—
坊つちやん……宇留木浩
マドンナ……夏目初子
きよ……百合子
校長……徳川夢聲
赤シヤツ……森野淑治郎
野だいこ……東屋三郎
うらなり……藤原釜足
山嵐……丸山定夫
小鈴……竹久千恵子
萩野のばあさん……伊藤智子
（坊つちやんの一場面）
佛蘭西映畫
佛ジアドルド・ドウラック映畫
日本版發聲全發
商船テナシチー
LE PAQUEBOT TENACITY
原作……シャルル・ガイルドラック
監督……ジュリアン・デュヴイヴエ
撮影……ウイリイ・イ・ヘイ
作曲……ジャン・ウイネル
佛ジアドルド・ドウラック映畫
日本版發行
内田岐三雄
—キヤスト—
バスチアン……アルベエル・プレジヤン
テレーズ……マリイ・ロオタイ
セザール……ユーベエル・プレジヤン
イヴウウ……ピエール・ヨーレル
ヨルデュ夫人……マデイ・ベリイ
—續前—
バスチヤンもセザールも大漁喜色。バスチヤンは巴里を捨ててカヌダへ出稼ぎに行く決心する。何事も運命に任せるセザールを連れ一緒にアーゲルの港へ行つた。その夜はマダム・ヨルデュの家にお泊つた。女中のテレーズは二人に親切だつた。翌朝出發。
テナシチー丸の甲板に立つたバスチヤンは、あの娘の事ばかりつたんだが、情しい事をした、と云ふ。機關の故障で船は引返した。再びコルヂュムの宿の人となつた。或夜偶然の運命がバスチヤンとテレーズを結びつけた。バスチヤンはテレーズを連れてカヌダへ行く事を考へた。餘りにも大きな冒險だ。明日は金々バスに乘つて出發と云ふ前夜、セザールは黒猫を抱いて出掛けた。バスチヤンは巴里へ急いだ。然し運命の神樣へ急いだ。セザールは黒猫を抱いて出掛けた。バスチヤンは巴里へ急いだ。然し運命の神樣へ急いだ。セザールは黒猫を抱いて出掛けた。
（次號）
上映々書
一、朝日新聞
世界ニュース
一、坊つちやん
P.C.L.超特作
オールトーキー
一、商船
テナシチー
佛ジアドルド・ドウラック
會社超特作
カヌダでの生活に入つた人の會
實に迫力ある名篇出來

Ⅲ–9	今井呉服店全景（1910–20年代）
Ⅲ–10	南一条通り（1910–20年代）

沿革資料／絵葉書資料



Ⅲ–11	文武会邦楽部の演奏会プログラム（1938年11月）

沿革資料／キャビネ資料0169

今井呉服店のほか、邦楽部のプログラムらしく、谷楽器店（南３条西３丁目）が広告をよせた。

Ⅲ-12	“丸井特別食堂”で開催した陸上競技班送別会（1941年11月16日）

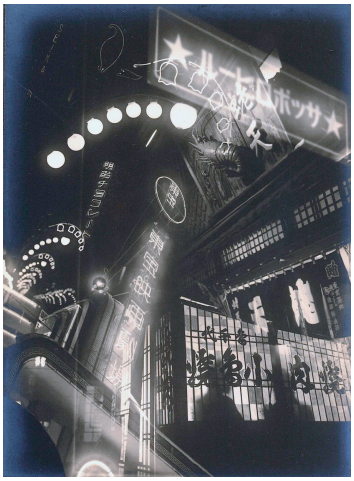
沿革資料／高松正信関係資料0130

Ⅳ．狸小路・すすきの界隈	
Ⅳ-1	南二条通りを西に望む
Ⅳ-2	永楽屋（南２条西２丁目）

沿革資料／絵葉書資料（高尾彰一旧蔵）

Ⅳ-3	夜の巷～狸小路のスズラン灯～（1930-40年代）

沿革資料／東克彦〔予科工類1941年修了〕旧蔵アルバム



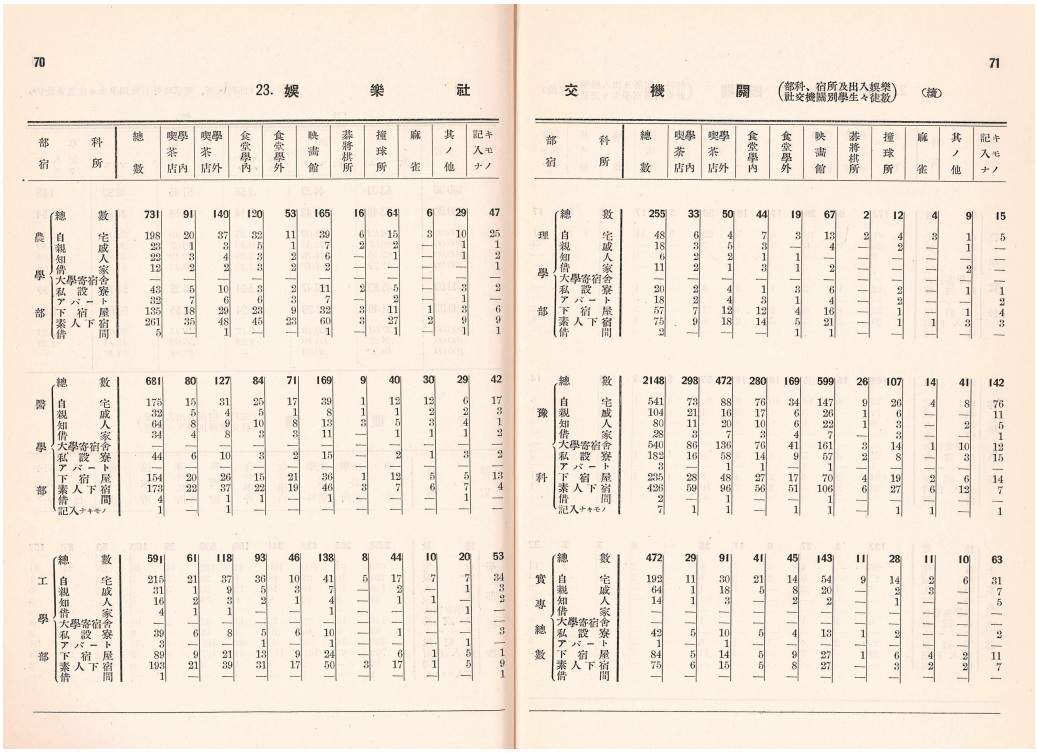
Ⅳ–4	室内での娯楽（1920年代）
Ⅳ–5	夜のとうきび屋台（1930–40年代）

沿革資料／坂田実〔農学実科1927年卒業〕、東克彦旧蔵アルバム

Ⅳ–6	北大生のアミューズメント・スポット№１は“映画館”（1935年11月）

沿革刊行物／『学生生徒生活調査報告　昭和十年十一月現在』

北大生に人気があった娯楽の場所は、①喫茶店、②映画館、③食堂、④撞球場（ビリヤード場）であった。映画館の広告には、エンゼル館（北２条西３丁目）のほか、すすきの方面の松竹座（南４条西３丁目）、美満寿館（南５条西３丁目）が見られる。



70　23. 娯　楽　社

部科所宿	総数	喫茶店内	喫茶店外	食堂内	食堂外	映画館	碁将棋所	撞球所	麻雀	其ノ他	記入セヨナノ
農学部 総数	731	91	140	120	53	165	16	64	6	29	47
農学部 宅成人家	198	20	37	32	11	39	6	15	3	10	25
農学部 自親知借	23	1	3	5	1	7	2	2	—	1	1
農学部 大學帝宿舍寮	22	3	4	3	2	6	—	1	—	1	2
農学部 私設バー	12	2	2	3	2	2	—	—	—	—	—
農学部 アト宿屋	43	—	10	3	—	11	2	5	—	3	1
農学部 下人宿間	22	6	6	2	2	7	—	2	—	1	2
農学部 素借	135	5	29	23	9	32	3	11	1	3	6
農学部 記入セヨナノ	261	7	48	45	23	60	3	27	2	9	9
醫学部 総数	681	80	127	84	71	169	9	40	30	29	42
醫学部 宅成人家	175	15	31	25	17	39	1	12	12	6	17
醫学部 自親知借	32	5	4	5	1	8	1	5	2	2	1
醫学部 大學帝宿舍寮	64	8	9	10	3	13	3	1	1	4	2
醫学部 私設バー	34	4	8	3	3	11	—	—	1	1	2
醫学部 アト宿屋	44	6	10	3	2	15	—	2	—	3	2
醫学部 下人宿間	154	20	26	15	21	36	1	12	5	5	13
醫学部 素借	173	22	37	22	19	46	3	7	6	7	4
醫学部 記入セヨナノ	4	—	1	1	—	1	—	—	—	1	—
工学部 総数	591	61	118	93	46	138	8	44	10	20	53
工学部 宅成人家	215	21	37	36	10	41	5	17	7	7	34
工学部 自親知借	31	1	9	5	3	7	—	2	—	1	3
工学部 大學帝宿舍寮	16	2	3	2	1	4	—	1	1	—	2
工学部 私設バー	4	1	1	—	—	1	—	—	—	1	—
工学部 アト宿屋	38	6	8	5	6	10	—	1	—	—	3
工学部 下人宿間	38	6	8	5	6	10	—	1	—	—	3
工学部 素借	89	9	21	13	9	24	3	6	1	5	1
工学部 記入セヨナノ	193	21	39	31	17	50	—	17	1	5	1

71　交　機　關　（部科、宿所及出入娯樂　社交機關別學生々徒數）　（續）

部科所宿	総数	喫茶店内	喫茶店外	食堂内	食堂外	映画館	碁将棋所	撞球所	麻雀	其ノ他	記入セヨナノ
理学部 総数	255	33	50	44	19	67	2	12	4	9	15
理学部 宅成人家	48	6	4	7	3	13	—	2	—	1	5
理学部 自親知借	18	3	5	3	1	4	—	—	—	—	—
理学部 大學帝宿舍寮	6	2	2	1	—	1	—	1	—	1	—
理学部 私設バー	11	2	1	3	1	2	—	—	—	—	—
理学部 アト宿屋	20	2	4	1	3	—	—	—	—	—	—
理学部 下人宿間	18	2	4	3	1	6	—	2	—	1	1
理学部 素借	57	7	12	12	3	16	—	4	—	1	1
理学部 記入セヨナノ	75	9	18	14	5	21	1	3	—	3	3
豫科 総数	2148	298	472	280	169	599	26	107	14	41	142
豫科 宅成人家	541	73	88	76	34	147	9	26	4	8	76
豫科 自親知借	104	21	16	17	6	26	1	6	—	—	11
豫科 大學帝宿舍寮	80	11	20	10	6	22	1	3	—	2	5
豫科 私設バー	28	3	3	3	4	7	1	3	—	—	1
豫科 アト宿屋	540	86	135	76	41	161	3	14	1	10	12
豫科 下人宿間	182	16	58	14	9	57	2	8	—	3	15
豫科 素借	3	—	1	1	—	1	—	—	—	—	—
豫科 記入セヨナノ	235	28	48	27	17	70	4	19	2	6	14
豫科	426	59	96	56	51	106	6	27	1	12	7
豫科	2	—	1	—	—	1	—	—	—	—	1
實專總數 総数	472	29	91	41	45	143	11	28	11	10	63
實専総数 宅成人家	192	11	30	21	14	54	9	14	2	6	31
實専総数 自親知借	64	1	18	5	8	20	—	3	3	—	7
實専総数 大學帝宿舍寮	14	1	3	—	2	2	—	1	—	—	5
實専総数 私設バー	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
實専総数 アト宿屋	42	5	10	5	4	13	1	3	2	2	2
實専総数 下人宿間	84	5	14	5	9	27	1	6	3	2	11
實専総数 素借	75	6	15	5	8	27	—	3	4	2	7

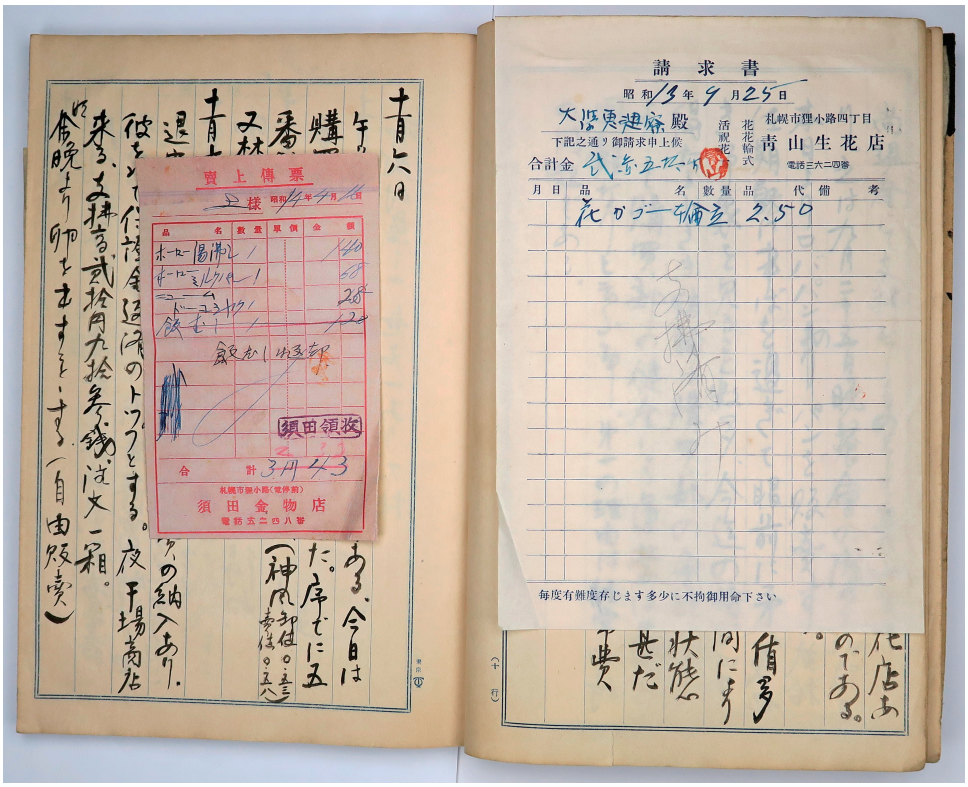
Ⅳ-7	狸小路の盛況
Ⅳ-8	南五条すすきのより停車場通りを望む

沿革資料／絵葉書資料（高尾彰一、櫻井俊郎旧蔵）

Ⅳ-9	狸小路の商店の領収書（1938年９月・1939年４月）

沿革資料／恵迪寮関係資料0339

狸小路には、老舗の百留屋食堂（狸小路２丁目）や喫茶店・甘味処などの飲食店、衣服・靴などの生活用品店のほか、便利で多様な店舗が並んでいた。須田金物店（狸小路３丁目）、青山生花店（狸小路４丁目）の領収書が、恵迪寮の会計記録にも貼られている。



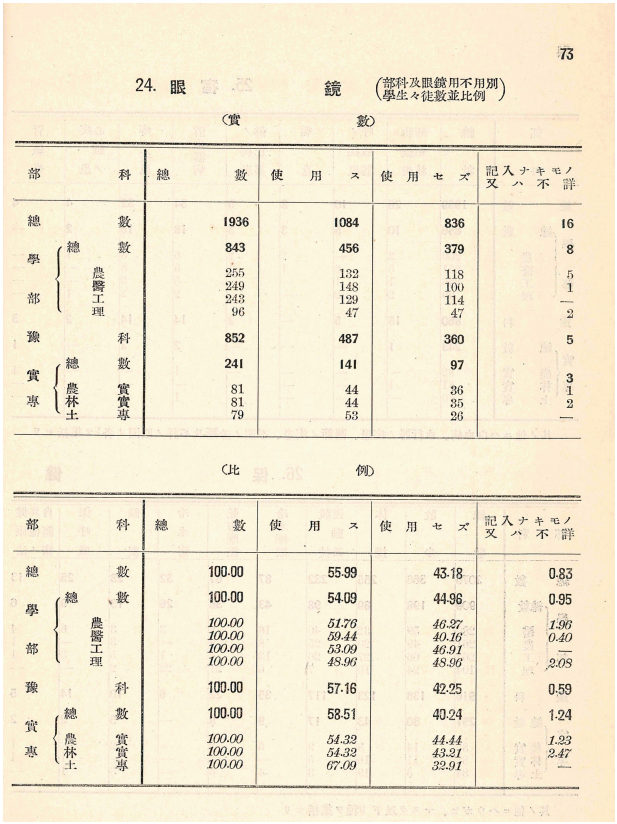
Ⅳ–10	寿司屋（1930–40年代）
Ⅳ–11	おでん屋（1930–40年代）

沿革資料／予科1930–40年代アルバム、東克彦旧蔵アルバム

Ⅳ–12	北大生の眼鏡率は55％強（1935年11月）

沿革資料／『学生生徒生活調査報告　昭和十年十一月現在』

北大の学部学生843名（農・医・工・理学部）と生徒1,093名（予科、農学実科・林学実科・土木専門部）、総数1,936名を対象とした生活実態調査から、眼鏡を使用する学生生徒は1,084名、全体の55.99％を占めた。大学新聞にも、山本眼鏡店（南４条西４丁目）、水野眼鏡商会（南２条西４丁目）などが広告を出している。



73

24. 眼　　鏡　（部科及眼鏡用不用別學生々徒數並比例）

（實　　數）

部科	總數	使用ス	使用セズ	記入ナキモノ又ハ不詳
總數	1936	1084	836	16
學部 總數	843	456	379	8
學部 農學	255	132	118	5
學部 醫學	249	148	100	1
學部 工學	243	129	114	—
學部 理學	96	47	47	2
豫科	852	487	360	5
實專 總數	241	141	97	3
實專 農實	81	44	36	1
實專 林實	81	44	35	2
實專 土木	79	53	26	—

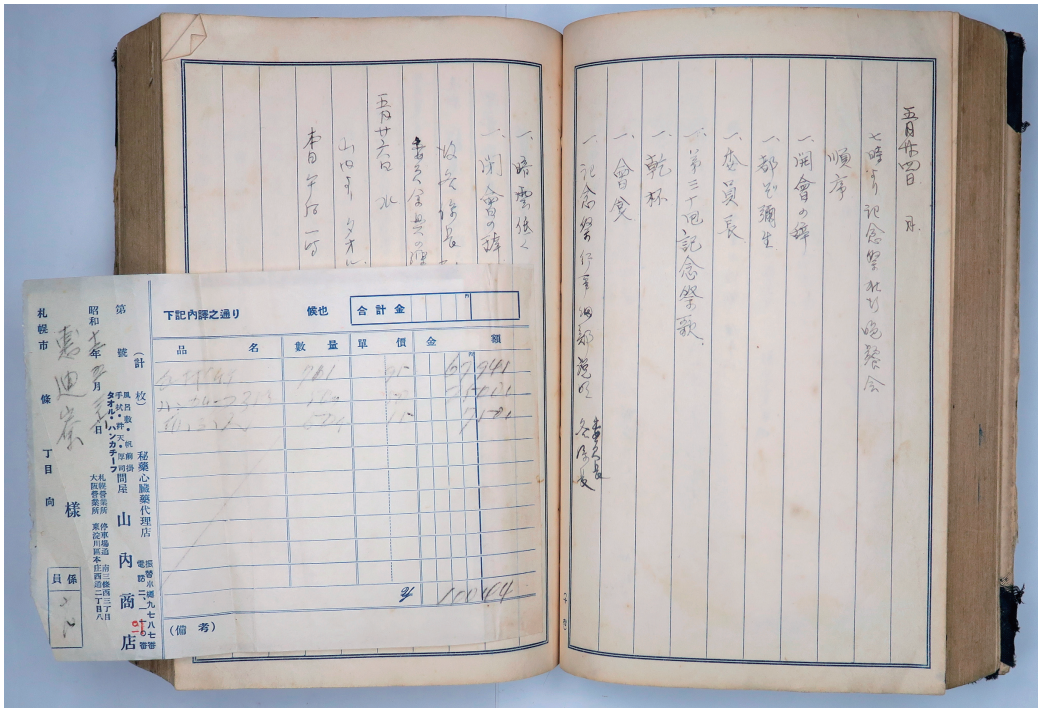
（比　　例）

部科	總數	使用ス	使用セズ	記入ナキモノ又ハ不詳
總數	100.00	55.99	43.18	0.83
學部 總數	100.00	54.09	44.96	0.95
學部 農學	100.00	51.76	46.27	1.96
學部 醫學	100.00	59.44	40.16	0.40
學部 工學	100.00	53.09	46.91	—
學部 理學	100.00	48.96	48.96	2.08
豫科	100.00	57.16	42.25	0.59
實專 總數	100.00	58.51	40.24	1.24
實專 農實	100.00	54.32	44.44	1.23
實專 林實	100.00	54.32	43.21	2.47
實專 土木	100.00	67.09	32.91	—

Ⅳ−13	喫茶店（1930−40年代）
Ⅳ−14	カフェー（1930年代）

沿革資料／予科1930−40年代アルバム、長谷場国道〔林学実科1939年卒業〕旧蔵アルバム

Ⅳ−15	手拭い・赤ふんの受注業者（1937年５月）

沿革資料／恵迪寮関係資料0338

恵迪寮では、第30回恵迪寮記念祭（1937年５月30日開催）に備えて、山内商店（南３条西３丁目）に、95銭の手拭いを711枚、50銭のハンカチを50枚、15銭の“赤ふん”（赤ふんどし）を50枚注文した。寮祭記念絵柄の手拭いは、その後も、第31回寮祭で1,000枚、第32回寮祭で1,500枚、山内商店が連続で受注した。